

大宮前保育園



調査対象

利用している子ども73名の保護者63世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：「父」14名、「母」137名、「父母一緒」14名、無記入6名。調査票記入者の年齢：「25～30歳未満」1名、「30～40歳未満」27名、「40～50歳未満」16名、無記入7名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内に設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当該評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

63
63
51
81.0

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」16名(31.4%)、「満足」123名(45.1%)、「どちらともいえない」7名(13.7%)、無記入4名(7.8%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の76.5%であり、サーベスに対して概ね満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問2「戸外遊びの工夫」、問8「清潔保持・整理整頓」、問9「職員の接遇・マナー」、問10「緊急時の対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」、問13「ブライバシーの保護」であった。
 ・自由記述では、「安心して保育をお願いできます」「子ども一人ひとりの個性を尊重してくれている」「職員の方々が気になることはよく教えてくれており、相談しやすい環境にある」などの声が寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	5	1	0
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	8	1	0
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	6	2	5

「はい」と返答した方々は回答者の88.2%で、提供されている食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とてもおいしいと喜んでいいる」「さつまいもなどの野菜など、栄養のあるものも多い」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「食事・おやつ共におかわりができるようにしてほしい」等の意見が寄せられた。

「はい」と返答した方々は回答者の82.4%で、自然や社会との関わりに関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「お散歩がもっとあっても良い」との意見が寄せられた。

「はい」と返答した方々は回答者の74.5%で、保育時間の柔軟な対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「スポーツ保育は利用しやすいサーベスだと思う」「スポーツ対応等よく対応してくれている」等の声が寄せられた。「非該当」と返答した方々からは、「そういうケースは今までにない」等の声が寄せられた。

4. 安全対策が十分取られていると思うか	35	12	4	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の68.6%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の23.5%であった。「はい」と返答した方々からは、「電子式オートロックを検討して欲しい」との声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「門の鍵が簡易すぎる」「ラールの際に外からの視線が気になる」等の声が寄せられた。</p>				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	23	18	9	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の45.1%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の35.3%であった。「はい」と返答した方々からは、「きちんと前から告知されている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「保護者会が平日にあるので出席が難しい時がある」「仕事の都合がつかず参観しあげるのが困難」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「平日昼間の日程が多く共働きでは参加しづらい」等の声が寄せられた。</p>				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	38	12	1	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の74.5%で、家庭と保育所の信頼関係に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「日頃の子どもの様子がわからない」との声が寄せられた。</p>				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	40	10	1	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の78.4%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「連絡帳に書いて質問したことに対して、すぐに対応してもらっている」「面接の際、丁寧に聞いてくれる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「どうしても職員からの一方通行になりがちである」等との声が寄せられた。</p>				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	45	3	2	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の88.2%で、清掃・整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「古い施設なのにとても清潔にしている」「清掃がきめ細かにされており、とても素晴らしい」等の声が寄せられた。</p>				
9. 職員の接遇・態度は適切か	42	8	1	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の82.4%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「いつもみなさん感じがよいです」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「人によってバラツキあり」等の声が寄せられた。</p>				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	44	4	2	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の86.3%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「どんな細かいこともしっかり報告いただいている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職場にすぐ連絡ではなく、携帯にしたい」等との声が寄せられた。</p>				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	37	9	1	4
<p>「はい」と返答した方々は回答者の72.5%で、子ども同士のトラブルへの対応に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「ぶたれた、なぐられたなど、子どもからのみ聞かされることが多い」「園のせいにされないことが第一になっているように聞こえてしまうことがある」などの声が寄せられた。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	44	6	1	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の86.3%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「子どもの特徴、性格を良く理解してくれ、よく見てくれている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員の方によって差があるように感じる」等の声が寄せられた。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	4	1	3
<p>「はい」と返答した方々は回答者の84.3%で、プライバシーの保護に関して高い満足を得ている。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	39	11	1	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の76.5%で、保育内容の説明に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「毎日日誌を掲示してくれているので、担当と話ができない時も活動内容が分かる」等の声が寄せられた。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	32	13	1	5
<p>「はい」と返答した方々は回答者の80.3%で、不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「あまり不満や要望が伝わりにくい」等の声が寄せられた。</p>				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	32	13	1	5
<p>「はい」と返答した方々は回答者の62.7%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の25.5%であった。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「特に困って相談したことはない」「機会がないので」等の声が寄せられた。「非該当」と返答した方々からは、「知らなかった」等との声が寄せられた。</p>				

1 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目		標準項目	評価	評点(〇〇〇)
1	リーダーシップと意思決定	カテゴリ1(1-1)	サブカテゴリ1毎の標準項目実施状況		9/9
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		評点(〇〇〇〇)
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		標準項目		
	評価		1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
			2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
			3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
			4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して説明し、事業所をリードしている		標準項目		評点(〇〇)
	評価		1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
			2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		標準項目		評点(〇〇〇)
	評価		1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
			2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
			3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当

春の保護者会で保護者に年間指導計画を配布し、その理解の浸透を図っている

保育理念・保育目標などを事務室内に掲示し、職員へ周知している。また、原董憲章・保育理念・保育方針を「園のしおり」に明示し、入園説明会で説明している。また、春の保護者会で、保護者に年間指導計画を配布し、園の目指す方向性を説明している。保育理念・方針・目標などは保育課程に記述し、職員個々に配布し、周知している。保育目標は、年度初めに全職員で話し合っており、その実践に努めている。その後、各種定例打ち合わせなどで、園が目指していることについて振り返り、確認し合っている。

園長・主査・向上リーダー2名を園の4本柱と位置づけ、保育の質向上に取り組んでいる

杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」を組織化しており、各園2名のリーダーを選出している。当園の向上リーダーは、乳児クラスから1名、幼児クラスから1名を選定しており、2名の向上リーダーと園長・主査が保育の向上促進の4本柱と位置づけている。各園のリーダーが参集し、区直営園横断的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考になっている。また、園長会(月2回)や、主査・看護婦などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、共通課題について検討している。

「職務分担表」「役割分担表」を作成し、職員個々の役割と責任を明確化している

「杉並区立保育所処務規程」に園長の専決事項を記載し、園幹部の職責を明確化している。「職務分担表」「役割分担表」を作成し、職員個々の役割と責任を明確化している。現場の問題課題の検討、決定の場を書面に明示している。週1回の定例会議では、午睡番以外の全職員が参加し、事務連絡・報告、カリキュラム(月1回)の検討、研修報告などを行い、職員会議(月1回)では年間指導計画の反省や園の課題について検討している。その他、幼児、乳児それぞれの打ち合わせなどの場を設け、子どもの様子について情報共有している。

2 経営における社会的責任		カネゴリー2	
		サブカネゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		サブカネゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評価項目1 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	評価項目1 ○非該当 ○非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評価項目2 1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる 2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に關する情報を開示している	評価項目2 ○非該当 ○非該当
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカネゴリー2(2-2)	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		サブカネゴリー毎の標準項目実施状況	評価項目1 ○非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		標準項目 1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) 2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	評価項目2 ○非該当 ○非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		標準項目 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) 3. ボランティアに利用者のボランティアの尊重やその他の留意事項などを伝えている	評価項目3 ○非該当 ○非該当
評価 ○あり ○なし		標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	評価 ○あり ○なし
評価 ○あり ○なし		標準項目 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	評価 ○あり ○なし

園長は、全職員に個別面談を行い、区立保育園で働く姿勢などについて話をしている
 正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。「杉並区立保育園保育実践方針」はパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、全職員で読み合わせをし、自己の保育について振り返りをしてしている。また、パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成し、入職時に説明している。毎年、6月から8月にかけて、臨時職員も含めて全職員に対して、園長は個別面談を行い、区立保育園で働く姿勢などについて理解が深まるよう話をしている。

「ふれあい保育」を利用している保護者の育児相談に応じている

地域の在宅親子への支援事業として「ふれあい保育」「園庭開放(週1回)」「行事参加(夏まつりと運動会)」の実施や、保育士は「ふれあい保育」を利用して保護者からの子育ての悩みを聴いたり、栄養士は離乳食の悩みなどにも対応している。また、児童館で、園長が保育者の話をするなど、児童館と連携し、園の持つ専門性を活かす機会もある。併設のゆうゆう館利用の高齢者と一緒に総合防災訓練、救急救命講習も行き、災害に備え、地域との連携体制も整えている。

「ボランティア受け入れ手引書」を用意し、これに沿って円滑な受け入れを行っている

「実習生(ボランティア)の受け入れについて」を用意し、円滑な受け入れを行っている。担当者を置き、活動初日に事前説明等を行ない、その際に口頭で守秘義務について説明している。ボランティアセンターからボランティアを受け入れているため、同センターで誓約書を交わしている。昨年度、2名の高校生がボランティアに来ている。また、今年度は、保育士の資格を取る学生がボランティアとして来園している。夏季のアルバイトの学生が、ボランティアの特技を生かして、ピアノの得意な職員とコンサートを開催している。

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
○あり	○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
○非該当		

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
○あり	○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
○あり	○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
○非該当		

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(〇〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
○あり	○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
○あり	○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
○非該当		

カテゴリー3の講評

要望BOXやメモを置き、いつでも意見を投函できるようにしている

園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。利用者がサービスに不満があるときは、保健福祉サービス苦情調整委員が申立者と事業者の双方から事情を聴き、公正・中立的な立場から問題の解決を図る制度である。「園のしおり」にも、苦情・要望等の相談窓口について周知している。要望BOXや、自由に書いて出せるメモを置き、いつでも意見を投函できるようにしている。

保護者会の開催では、事前にアンケートを行ない、保護者の意向を把握している

保護者会では、事前にアンケートを行ない、保護者の意向を把握している。保護者の「子どもの様子をもっと知りたい」との希望を受け、日記を掲示している。保護者に試食会アンケートを行い、その集計結果を改善に活用している。個人面談(年1回)や連絡帳を通して、保護者の要望や意向を行い、ミーティングなどで情報伝達し、対応策について話し合っている。

地域子育てネットワーク連絡会に参加し、地域ニーズに関わる情報を収集している

児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育園係施設の長が集まる杉並区内保育園施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。近くの児童館に出向き、地域の子育て中の保護者と話をしたり、区発行の各保育園施設冊子等の資料を参考にするなどして、地域ニーズを収集している。杉並区保健福祉計画・園長会、幼保小連携担当者連絡協議会への参加や、新聞記事や書籍等で得た情報も確認しながら日々の保育に役立っている。

カテゴリー4

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1(4-1)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(0000)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(00000)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(00000)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度を測る指標を明示している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○非該当

カテゴリ4の講評

年度初めににチャレンジプランを策定し、その実現に向けて取り組んでいる

区では中長期計画としては、平成27年度から平成31年度(5か年)までの「杉並区保健福祉計画」を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めににチャレンジプラン(組織目標)を策定し、目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行ない、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている。震度5強の地震や、ボール遊び・朝保育中・園外保育などのさまざまな場面を想定し、実施後は反省会を持ち、改善を図っている。また、消防署と連携しての訓練も実施予定である。災害時に保護者へのメール登録をしてもらい必要な時に情報を配信している。区所管部署からの不審者情報を掲示し、保護者に通知している。さらに不審者が園庭に侵入しそうな事態を想定し、園児の安全確保、不審者対応、通報の動きなどの防犯訓練も行なっている。

区作成の危機管理マニュアルを保管し、的確に迅速に対応できるようにしている

区作成の危機管理マニュアルを保管し、事故などの危機に対して的確に迅速に対応できるようにしている。ヒヤリハットは園日誌に記載している。事故やヒヤリハットが起きた際は、すぐに園長へ報告するようにしている。屋の打ち合わせで他職員と情報共有し、議事録や園日誌に記載し、各クラスにも回覧している。怪我などについては、半年ごとの反省でまとめていく。また、年1回、区保健課の職員が来園し、「点検表」を使って、安全点検し、必要箇所を修繕している。地方、感染情報を掲示し、保護者に周知し、感染予防としている。

5 職員と組織の能力向上

サブカネコリー1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	サブカネコリー毎の 標準項目実施状況
8 / 8	

評価項目1
事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(0000)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる
○非該当	

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる

評点(000000)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
●あり ○なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
○非該当	

サブカネコリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカネコリー毎の
標準項目実施状況

7 / 7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(0000)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
○非該当	

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格・賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

平成27年度区職員人材育成事業実施計画などで、求める人材像を明確化している

「平成27年度区職員人材育成事業実施計画」などで、目指す人材像を明確化している。「チャレンジプラン1(目標達成チェックシート)」を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標や目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努めている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。園児の状況などを考慮し、ミーティングなどで話し合い、職員配置(クラス担任)を決めている。

全職員が区主催の研修に参加できるようにし、専門性向上を図っている

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行なっている。区保育課主催の「実務研修計画」は、研修目標を明確化し、階層別職種別に必要なテーマを設定し、専門家を招聘しての研修も多く、研修内容は充実している。パート・アルバイト対象の研修もあり、希望や園長による指名などで、全職員が研修参加できるように勤務調整し、専門性の向上を図っている。研修受講後は、1週間以内に研修報告書を提出し、園長に報告し、屋の定例会議で研修報告を行い、職員皆で知識・スキルの共有化を図っている。

園長・主査を中心に就業状況を把握し、必要な休暇等の取得に努めている

園長は職員との個別面談を通して、仕事の問題課題も把握し、やる気向上につなげている。園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で希望休が取れるよう調整している。夏休み5日間を全員取得できている。常勤職員の平均年齢40歳、常勤職員の平均在職年数28年である。職員アンケートからも、風通しが良い職員集団で、保育について気ついたことを自由に話し合える職場環境であることがうかがわれる。

カテゴリー7

7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1(7-1)

情報の保護・共有に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(0000)

評価項目	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当

評価項目2
個人情報保護法は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(00000)

評価項目	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当

カテゴリー7の講評

区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。基本的にUSBメモリーは圏外持ち出禁止である。個人情報や鍵の取り扱いは十分に注意し、書庫などの鍵の取扱者を限定している。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。

区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている

杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関し注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保育記録の閲覧を希望する際は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。「保育記録の保護者閲覧の流れ(手順書)」を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようにしている。

入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している

正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

- ・前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
- ・カテゴリー1:「リウターシツブと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育課程の内容の理解と見直しを行い、園として統一した年間指導計画を作成した

- ・保育課程の内容の理解と見直しを行なった。その中で、年間指導計画の項目を見直し、園として統一性のある指導計画を作成した。このことを通して、項目ごとのねらいや保育をする中で大事にしたいことについて職員が理解が深まった。
- ・児童館の子育て支援事業の講師を依頼され、地域の子育てしている保護者に保育園の生活状況などの話をした。このことを通して、園の持つ専門性を地域に還元している。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

- ・前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

年3回、園内研修を実施し、保育の質向上に取り組んでいる

- ・全職員が実務研修に参加できるよう、職員のシフト調整を行い、年1回以上の研修参加ができている。
- ・新任職員には育成担当者配置し、育成計画書を立て、計画的に新任職員を育てている。
- ・年3回、園内研修に取り組み、保育の質向上に向けて、研修を深めている。今年度、3グループに分かれて、室内環境やおもちゃなどについて意見交換している。また、他園の看護師を招き、病気・怪我の対応についての勉強会を行なった。さらにぶつけたとき、噛まれたときなどの処置マニュアルも作成し、職員皆が同じ対応をできるようにしている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

- ・前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

個人情報の取り扱いについて再確認し、個人情報の取り扱いの意識を深めることができた

- ・個人情報の取り扱いについて再確認し、個人情報の取り扱いの意識を深めることができた。
- ・重要なファイルや物の場所を改めて確認し、個人情報に関わる資料は事務所から出さないように保管し、情報が漏れないようにしている。

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

コスト削減に取り組みとともに、保育料収納率の向上に努めている

・給食調理業務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組みとともに、保育料収納率の向上に取り組みしており、杉並区立園全体で、指定管理制度を5園に導入し、調理業務委託についても平成27年度現在で24園で実施している。また保育料の収納率については平成26年度で97.93%(対前年比0.34%増)となっている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者に試食会アンケートを行い、その集計結果を改善に活かしている

・保護者の開催では、事前にアンケートを行わない、保護者の意向を把握している。「日々の保育を知りたい。1か月の中で、ねらいをもって保育をしているのか」などの意見を受け、他の子どもの名前を消して、月指導計画や個別計画を渡している。保護者の「子どもの様子をもっと知りたい」との希望を受け、日誌を掲載している。保護者に試食会アンケートを行い、その集計結果を改善に活かしている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目 サブカテゴリー1	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
1	<p>サービス情報の提供</p> <p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p>標準項目 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</p> <p>サブカテゴリー1の講評 区のホームページや情報誌「保育施設ガイド」、園のしおり等で情報を提供している 区のホームページや区が発行している「保育施設ガイド」「保育施設マップ」などの情報誌で情報を提供している。「大宮前保育園のしおり」も用意している。ホームページでは、保育園の概要、施設の早取り図、保育目標、対象年齢や定員、主な行事、地域子育て支援内容などと園庭や保育室、子どもの活動の様子を写真で示しており、保育園の特色には、「1階施設なので、どのクラスからも園庭にすぐに出られます」「園庭には様々な木々があり自然の変化を感じることが出来ます」などを明示している。外部向けに園庭開放の情報を提供している 区立施設であり、行政や関係機関などと情報共有し連携もしている 区立園であり、区に対して欠席現報告、延長保育実施状況報告などの月報をはじめ保育材料費、子育て支援事業報告などを報告している。保健所にはインフルエンザやノロウイルス等の感染症が園児の10%以上発生した場合報告して、指導を受けることになっている。園医には年2回の健康診断のほか、運動会や卒園式の案内を出している。併設の高齢者向けの施設(ゆうゆう館)、地域の児童館、小学校に対して同じように案内をしており、お互いに交流したり、情報交換をしたりしている。 施設見学には柔軟に対応し、可能であれば子どもが遊んでいる時間を案内している 見学希望には電話で受け付けている。希望の日を聞いて園の状況を判断し、可能な限り柔軟に個別に対応している。希望者の事情によるが、子どもたちが活動している時間を見てもらいたいと照っており、子どもが遊んでいる10時以降の時間を案内している。案内は園長が担当しているが、留守の場合は主査がしている。個別に対応することで、丁寧に施設の特徴などが伝えられ、相談なども一緒に受けることができる。A4サイズを3つ折りにした、リーフレットのしおりを渡して説明している。</p>	<p>サカネ1 4 / 4</p> <p>評点(〇〇〇〇)</p>
2	<p>サービスの開始・終了時の対応</p> <p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p>標準項目 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</p> <p>サブカテゴリー2 サカネ1 6 / 6</p> <p>標準項目実施状況</p> <p>評点(〇〇〇)</p>	<p>サカネ2 6 / 6</p>

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(○○○)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている

サブカテゴリー2の講評

園のしおりを基に、保育目標や園生活に必要なお願い事項などを説明している

入園が内定してから、3月中に面接日と入園説明会を案内している。入園説明会は月末の土曜日に実施し、「大宮前保育園のしおり」を基に、保育理念や保育目標、保育園からのお願い事項、個人情報保護、不慮の事故対応についてなど、「大宮前保育園ご利用にあたっての重要なお知らせ」を基に細かな制度について伝えていく。5月にはクラスごとの保護者会を平日の13時30分～15時に実施して、年間指導計画を配布し計画に沿った保育をしていくことを説明している。保護者会では事前にアンケートをとり、グループ別のテーマを決めて懇談している。

新入園児健康診断と面接を行い、個別の事情や要望を聞き取っている

3月上旬の新入園児面接は平日の午後2日間の日程で実施している。期日の予定が合わない場合には別日を案内している。親子で来園してもらい、園医による健康診断や身体計測を行い、事前に渡しておき、記入してもらっている「入園までの生活状況」「入園までの健康状況」などを基に、個別に面接を行っている。面接は担任予定者を中心に、子どもの発達や遊びについては保育士が、健康面は看護師、食事面は栄養士が担当して聞き取っている。保育時間や家庭の事情、保育の要望などは園長が聞き取っている。

初日は親子で一緒に過ごしてもらい、一人ひとりの状況に応じて保育時間を延ばしている

初日は親子登園してもらい、保護者に保育園の様子を知ってもらうこともねらいとして、子どもと一緒に保育室で遊び、昼食まで過ごしてもらっている。2日目より、分離をはじめ、お昼ご飯まで、分離2日目はお昼寝まで、3日目はおやつまでという具合に、徐々に保育時間を延ばしている。おおむね1週間を目安にしているが、保護者の状況により緩やかに延ばせる場合は、子どもの泣き具合、食の進み具合、集団保育の経験があるかなど子ども個々の状況により、慣れ保育をすすめている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(○○○)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サマカテゴリー3の講評

保育士・看護師は子どもの状況を観察・把握して、日誌や児童票などに記録している

朝の受け渡しの際、保護者から子どもの状況聞き取り、観察を行い、連絡帳からの情報を把握して保育にあたり、その内容を保育日誌や連絡帳に記載している。毎日の登園時間やお迎えの時間、保護者からの情報、気を付けること、連絡帳からの情報などを朝夕スタートに記載し、共有している。毎月実施している身体測定、年2回の健康診断などは健康カードに記入して家庭にも見てもらっている。保育の経過記録や健康の記録は児童票にも記入している。児童票には、1歳児は1か月毎、2歳児は2か月毎、3歳以上は3か月毎に記録している。

計画は担任同士が話し合って作成し、年間指導計画を保護者に配布している

クラスの指導計画案作成打ち合わせを行い、各担任同士、1人担任の場合はフリー保育士と一緒に話し合い、作成している。1、2歳児は個別計画も作成している。指導計画の打ち合わせを2回実施して、1回目の打ち合わせでは作成案を配布し読んで参加し、案に関するクラスからの報告をしている。2回目には質疑応答をして案をとり、計画にしている。年間カリキュラムは春の保護者会で配布し、幼児は週の活動(週案)を掲示している。

子どもに関する情報は、各種の会議を開催して職員全員で共有している

毎日14時から15分程度の連絡会を行っている。アレルギー児の食事やおやつの確認、夕方の体制、明日の体制、連絡事項などについて連絡している。毎週1回14時から昼打ち合わせをしている。園長会報告や子どもの保育に関することを話し合っている。行事についてはプロジェクトの打ち合わせを行っている。定例職員会議は月1回17時から実施し、当番以外の全職員が参加して避難訓練の反省、行事の反省、研修報告などを行っている。その他、幼児打ち合わせ毎週1回実施し、乳児打ち合わせもしており職員間で情報の共有をしている。

5 ライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1
子どものライバシー保護を徹底している

評点(〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部位とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようになっている 2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている
○あり	○なし	○非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(〇〇〇〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
○あり	○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
○あり	○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
○あり	○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している
○あり	○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている
○あり	○なし	○非該当
○あり	○なし	○非該当
○あり	○なし	○非該当

サカカテゴリー5の講評

個人情報の取り扱いについての考え方を園のしおりや保護者会で説明している

個人情報保護については、「大宮前保育園のしおり」で個人情報が含まれるすべての書類を施錠保管する、パポート職員等にも守秘義務の徹底を図る等を伝えており、写真や映像などの取り扱いについても年度当初の保護者会で説明している。また、「大宮前保育園」利用にあたって(重要なお知らせ)「J」でも、個人情報の取り扱いについて掲載している。外部と情報共有する際は、保護者の同意を得てやりとりしている。保育所児童保育要録を小学校に提出することについては、4歳児の保護者会で説明している

保護者の考えや思いを良く聞き、それに寄り添って対応している

子どものオムツはずしや食事で箸を利用するなど、保護者の考え方や思いを良く聞いて、それに沿って行っている。給食食材の放射能検査結果は掲示しているが、牛乳の放射能対策について保護者からの申し出がある場合には麦茶に変えて提供したケースがある。家庭の考え方で、塾や習い事に行くために通常の保育時間よりも早く迎えに来るなどの申し出にも柔軟に対応している。職員には「一緒に働く皆さんへ」の文書を渡し、子どもとしっかり向き合うことや、子どもの人権を大事にすることなどを伝えている。

子どもの権利や人権について、人権プログラムを基に話し合っている

実務研修の「愛着関係が築きにくい家庭への支援」「子どもの気になる行動の見方と対応」「要配慮児童への早期発達支援」など支援が必要な児童や家庭に向けた支援について学ぶ機会があり、研修参加後にはレポートを提出している。参加者は打ち合わせで報告をして、情報の共有をしたり話し合ったりしている。その他、学校の人権プログラムを基に必要な箇所を印刷して語をしている。子どもに注意する際に、言葉が強かったり声を荒げる状況がある場合には、声を掛けて事務所に来てもらったり、子どもの対応を交代することになっている。

6 事業所業務の標準化

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改善の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

区立園共通の「危機管理マニュアル」「保育実践方針」などを整備している

区立園の共通の「危機管理マニュアル」「保育実践方針」には、「事故発生時対応」「火災・地震等災害時の対応」「感染症対応」「食物アレルギー」「児童虐待の早期発見・対応の為に」「散歩マニュアル」「頭じらみ・熱中症」などが整備されている。園独自のものとして、「おむつ交換のやり方」「吐物の処理のやり方」「夕保育について」「迎えが遅れた時の対応」などの具体的業務関係のマニュアルを作成している。これらマニュアル類は職員が手に取りやすい場所に置き、必要な時にいつでも見ることができている。

保育内容や仕事の手順は職員の意見や保護者の意見を参考にして見直している

提供している行事や保育内容については行事終了後や月、期、年度毎に反省しており、必要に応じて見直しをしている。保護者から保護者会や個人面談などで寄せられた意見は個人面談記録に記入して参考にしていく。業務内容のマニュアルの中でも、朝夕保育の子ども数の増減などで当番やパート職員などの仕事内容を見直す必要がある時などには随時、話し合いをして見直しをしている。改訂したものを印刷して周知している。

新人職員や2・3年目の職員の育成には育成担当者をつけている

新人育成のOJTとして、育成担当者を付けている。今年と同じクラスの人で、側で見ている人を担当者にしていく。2年目・3年目の人を育成するのは主査の役割になっている。自分の課題を決めて取り組んでもらい、「多職種を知る」の課題の場合は、用務の仕事を経験して保育園の一日の流れの中で果たしている役割などを学ぶ機会になっている。

Ⅱ サービスの実施項目(カネコリー-6-4)

サマカネコリー-4

サマカネコリー毎の
標準項目実施状況 37/37

1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている		評価項目1の講評	
標準項目			
評価	標準項目	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけられることができるよう、環境構成を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	

2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている		評価項目1の講評	
標準項目			
評価	標準項目	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状態に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状態を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	

2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている		標準項目	
評価			
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状態に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状態を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	

評点(○○○○)

施設環境の使い方を工夫し、子どもが主体的に遊べる環境作りに取り組んでいる
4・5歳児は遊戯室兼用の部屋を可動式の棚で仕切って生活している。部屋にはままことコーナーがあるが、午睡用の布団を敷いても動かさなくてよい場所として、4歳児側を選び、遊びも継続できるようにしている。1歳児～3歳児までの保育室は、子どもの遊び場のスペース確保のために、低い丈の可動できる棚を用意し、手作りの仕切りを使って囲み、コーナーを作っている。2歳児は子どもの好きな汽車ごっこができるスペースも確保している。積み木を使った構成遊びに力を入れており、どのクラスも様々な積み木と遊べるコーナーを用意している。
異年齢で散歩に行ったり、一緒に遊べる鬼ごっこをしたりして交流している
4・5歳児が同じ部屋にいるが同じ年齢同士遊んでいることが多いため、意識して交流する場を作って活動している。2つのグループに分かれて、異年齢で手をつないで散歩に出かけ広い公園で一緒に鬼ごっこをして遊んだり、別のグループは園庭で一緒にコロコロドッジボールをしたりしている。活動は4・5歳児が手をつないで一緒に遊べる鬼ごっこなどを計画している。園庭の自由遊びでは、異年齢が混ざって砂場などで遊んでいる様子はよく見られている。

保育者は子どもの思いを良く聞いたり取りまわして、トラブルの仲立ちをしている

保護者会で、子どもの発達過程として自分の思いを言葉でうまく伝えることができずに、噛みついていたりひついたりする行動があることを伝えて、自分が使ったおもちゃを他の子が使った時に僕が使っているんだよ、返してと言えずに、噛んだ・ひつかいた・叩いた等のトラブルになった場合には、双方の言い分をよく聴いて、仲立ちをしている。ひつかき傷やかまれ傷になった場合には、両方の保護者に事情を説明して、防ぐことができなかつたことを謝っている。トラブルが続く場合には、原因を探るために記録を取り、方策を導き出している。

評価項目2の講評

登園時には子どもの観察を行い、家庭での子どもの様子を聞き取っている
 朝の受け入れ時は笑顔で挨拶して、保護者と子どもに言葉をかけている。朝保育は当番の正銀職員とアルバイトの職員とでみているが、子どもの受け入れや観察、家庭での子どもの様子や連絡事項の聞き取りは正規職員が行っている。1・2歳児は複写式の連絡帳を使用している。聞き取った事項を朝タラントに記入して、8時30分からクラス保育に移行している。担任が迎えに行った時に、当番から連絡事項を口頭で聞き取り、朝タラントも目を通し引き継いでいる。

生活習慣は家庭と協力しながら身に付くように支援している

子どもの食事や排泄、着脱などの生活習慣の自立に向けた取り組みについては、クラスの保護者会で伝えられている。個人面談でも個々の子どもの様子を伝え、家庭での情報を聞き取り、お互いに協力して、トイレットトレーニングをしたり、スプーンを持ち方や箸の使い方などを知らせていくようにしている。また、栄養士が5月の保護者会で朝二飯を食べべて整頓しましょうと話をしたり、ほけんだよりで生活リズムを身に付けることの大切さや手洗いの仕方について掲載するなどして、保護者にも子どもが生活習慣を身に付けられるように話をしている。

午睡は年齢や子どもの状況に合わせて長さや時間を配慮している

1歳児は昼後から14:00頃まで寝ているが、早めに目覚めた子どもは静かに遊ばせている。年齢があがるに従い、体力も付いてくるので、時間を遅めにして布団に入っている。どのクラスも2時50分頃をめぐりに起こしている。午睡子エツク票は2歳になるまでの子どもについて、身体の向きや顔色などを10分おきに観察して記入している。5歳児の午睡はクラスの子どもの状況により、屋敷をさせた方がよいかどうかを判断して、対応を決めるようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当

評価項目3の講評

子どもたちが思い切って遊べるように園庭使用日を決めている

園庭の使い方では、幼児の動き方と乳児の動き方の違いがあるため、乳児が園庭で遊ぶ日には幼児は散歩に行くなどしている。それぞれが思い切って遊べるようにすることがねらいである。原則水曜日が乳児、幼児は木曜日としているが、融通もきかせて話し合っていている。遊び込める時間を保障するために、遊びが盛り上がりつつある時に切り上げるのではなく、様子を見て「あと少し遊んでおしまいにしよう」と気持ち切り替えやすいように伝えている。また、散歩先で十分遊べるように、時間を見計らって出かけている。

子どもたちが気づいたこと、思いついたことを活動に取り込んでいる

運動会では4歳がバリエーション、5歳児が縄跳びをしたが、バリエーションに取り組んでいる様子を撮影し、子どもと見合ったことで、子ども自身から「もっととんとんと張る方がいいね」と気づいて取り組んでいる様子が見られている。5歳児も、並び方や待ち方などに自分自身で感じたこと、思いついたことを出し合って、「もっと、こうしよう」と取り組んでいる。夏祭りのおみこし作りでは、本物のおみこしに龍がついていたのを見て、「龍のおみこしを作りたい」という希望が出てみんなで作りに上げる等、子どもたちが主体的に活動に参加している。

身近にある自然物に触れながら、季節の変化を感じる活動をしている

当園は庭が広く、桜、いちじく、ケヤキなど数種類の樹木、花壇には季節の花が植えてあり自然が多い環境である。散歩に出かける近隣の公園も、自然に触れる場になっており、自然の変化を感じるように薦掛けもしている。木の葉を使ってフロッタージュ(こすり絵)等を制作したり、栽培したサツマイモの収穫時の豊を利用して、リース作り、ポングリを使って庭での砂遊び、オシロイバナを栽培して色水遊びや種を利用したままごと遊び等をしている。川海老やサリガニの飼育、カマキリの卵の観察などを通して命の大切さなどにも気づかせている。

4 評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

取り組みの過程を大事にしながら、子どものやる気を引き出せる行事にしている

行事が終わり達成感で終了にするのではなく、当日までの取り組み過程を大事にしている。わくわくデー(運動会)のリレーや縄跳びなどは日常の保育でも引き続き遊んでおり、リレーでは勝ったり負けたり、喜びも悔しい思いも経験する大切な機会になっている。小学校交流で経験したお化け屋敷ごっこ(クラスの活動として行ったもの)を自分たちでもやろうと取り組み、他のクラスに密になってもらい一緒に楽しむこともしている。夏祭りでは、自分たちのおみこしを作り、盆踊り、梅太鼓をたいたたりしてみんなに披露している。

保護者参加行事の日程は早めに知らせ、行事のお知らせも配布している

年間行事予定は新年度初めに配布している。行事予定の項目に保護者参加の欄を設け、保護者会・夏祭り・運動会・卒園お祝い会が分かりやすいように表示している。個人面談日と2回目の保護者会には日程未定となっているが、なるべく早く知らせるようにしている。保育行事の園外保育やお別れ遠足にはお弁当の支度などをお願いしているが、行事のお知らせを早めに出して、協力を依頼している。また、運動会や夏祭りの後、懇談会などにクラスでアンケートを取ったり感想を聞いたりしており、それらを次年度に生かすことになっている。

併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)と交流している

保育園の運動会には卒園1年目の子どもにもプログラムを配っている。併設の高齢者向け施設や地域の児童館、小学校には招待状を出している。運動会は3・4・5歳児を対象として、10月の土曜日に園庭で実施している。1・2歳児は自由参加であるが、1・2歳の園児や園庭開放に参加している地域の人を対象にした種目も用意している。高齢者向け施設との交流では、行事の際に5歳児の絵を飾ってもらったり、子どもに習字を教えてもらったりしている。地域の小学校2校と交流し、交流遊びに参加したり、音楽会や学芸会へ参加させてもらったりしている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確認な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

出来るだけゆったりと過ごせるように、布団やクッションを置いてい
 友達と一緒に思いっきり遊ぶ時間とゆっくり過ごす時間の動と静が必要であると考えて、夕方の時間はゆっくりつるる環境を大事して
 いる。夕保育では1〜3歳児はクラス保育をして、4・5歳児は合同にしている。18時頃には3・4・5歳児の合同にしている。1歳児クラスには遊
 び用の布団やクッションをおいて、疲れた時などにごろごろと横になったりできるようにしている。3歳児クラスには朝夕保育専用の玩具棚
 があり、静かに遊びたい時などには、ままごとや絵本のコーナーなどの狭いスペースに入るなどして遊んでいる。

朝夕保育では兄弟関係も多く、異年齢と一緒に遊んでいる
 園児の兄弟関係も多く、大人が遊びの仲立ちをすることで、朝保育の時などには異年齢と一緒に遊ぶ姿がよく見られている。当園は1階
 施設のため、2歳児もすぐ庭に出られるので、2歳と5歳の兄弟が何相があり、お兄ちゃんお姉ちゃんおの側について行って一緒に遊んで
 いる。大人が指示をしなくても、5歳児の女の子たちの中には、小さい子の靴をはかせたり、脱がせたり、手をつないだりしてお世話をし
 ける姿がよく見られている。

朝夕ノートを_usingして子どもの様子を職員間で引き継ぎ、保護者に漏れなく伝えている
 夕保育や延長保育の当番の保育者は朝夕ノートを使って、お迎えの保護者に漏れなく連絡事項を伝えている。日中の保育をしたクラス
 の保育士やクラスに入った職員、責任を持って保育をした職員が、引き継ぎのために朝夕ノートには書くようにしている。ノートに書いた内容を
 口頭でも具体的に伝えている。夕保育や延長保育での出来事や職員同士共有する必要があることに付いては、次の日の朝保育の当番
 に向けて朝夕ノートに記入し、園日誌にも書いて、両方とも引き継げるようにしている。

6 評価項目6
 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○ 非該当

評価項目6の講評

子どもが落ち着いて、楽しく食事ができるようにし、行事食も提供している
 子どもたちの座席を決め、同じ場所と同じ友達と一緒に食事をしている。1歳児では個々の状態に応じてテーブル椅子を使用するなどし、
 安定して座って食べられるようにしている。年長組は当番が食事の配膳をしている。配膳の仕方、食器の位置など食事のメニューについて
 も教えている。区立園統一の2週間サイクル献立であり、食材の放射能検査を実施し、食材の産地も掲示している。お楽しみパーティーやひ
 な祭り会食、七夕会食など行事の時には行事食を提供している。セレクトおやつも楽しみの1つで、5歳児が決めたおやつを取り入れてい
 る。
 食物アレルギーには除去食を提供し、誤食を防ぐために個人用トレーを使用している
 食物アレルギーの対応では卵除去食を提供している。除去表を提出してもらい、誤食の対応を含め、かかりつけ医のことなども書いてもら
 っている。毎月、保護者と担任、栄養士、事務室も立ち会って、献立表と材料成分表で除去を確認している。アレルギー除去食には、個人
 用のトレーに名札を付けて使用している。常に2人の目で確かめてチェック表を付け、トレーを運ぶ時にも声に出して確認し、必ず正規の職
 員が取りに行くことにしている。体調が悪い子どもがいた場合には、牛乳を控えるなど、個別配慮をしている。

食育年間計画を作成し、野菜の栽培や食材に触れる経験、調理保育などに取り組んでいる

「食べ物に興味をもつ子ども」を目標にして、食育年間指導計画を作成している。夏野菜を栽培し、水やりなどで関わりながら収穫の喜び
 や食べてみる経験をしている。食材に触れる経験では2歳児から取り組み、3歳児からはそのままのさやむき、玉ねぎの皮むき、トウモロコ
 シの皮むきなどの調理手伝い作業をしている。調理保育ではおにぎりを握る経験や5歳児ではスライトポイント作りやクッキー作りも経験し、
 自分のご飯をよさうこととしている。食材や調理への興味関心を高めるために、さんまの三枚おろしを子ども目の前で見せたりしている。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当

評価項目7の講評

病気予防のために、手洗いやうがいの仕方を指導し、身の回りの危険も知らせている

日常的には看護師は在園していないが、健診の時などに連携園から来てもらっており、手洗い、うがいの仕方について指導してもらい、ハイキンの紙芝居を見せてもらったり、手の洗い方を見てもらったりしている。身の回りの危険については、散歩に行く際などよそ見をして歩くどぶつかつたり転んだりして、怪我をすることがあると知らせている。寒い時期などは特に、室内から出て外遊びをする際など、準備運動をしてから遊ぶように伝えている。

医療的なケアについてはかかりつけ医の指示で行い、園医への相談もしている

医療的ケアが常時必要な子どもは在籍していないが、与薬については慢性疾患で薬が必要な場合にのみ与薬をしている。現在は、熱性けいれんの座薬、食物アレルギーの誤食の時の薬について、医者からの指示書と与薬申し込み書を提出してもらい預かっている。アトピー性皮膚炎の場合のぬり薬も預かり、必要な場合に使用している。年2回健康診断時に来園している園医には、園児の健康面について相談ができています。

感染症発生の情報などはこまめに掲示して保護者に知らせている

園において感染症が発生した場合には、「マイコプラズマ肺炎が発生しました」などと全クラスの入出口にお知らせを貼り出している。区や保健所などから届く、インフルエンザなどの感染症、夏の子ども熱などの注意喚起の情報やポスターなども掲示して伝えている。乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、午睡チェック表では個別に5～10分毎に体位や顔色などを見ている。健康診断や歯科健診などの健診時や園児の健康面での保護者からの相談がある場合に看護師に来てもらっている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

評価項目8の講評

保護者の就労や家庭の事情には柔軟に対応している
 19時30分までの延長保育を実施しているが、月極めの利用は2人であり空きがある状況である。保護者から残業などで、迎えの時間が遅くなるためスポット延長を利用したいと連絡がある場合は受けている。お迎えの人の名前はあらかじめ提出してもらっているが、急に別の人のお迎えになる場合は保護者から連絡をもらい対応しているが、身分証明書提示をお願いしたり、名前を確認してから引き渡しをするなどしている。

保護者同士のグループ討議や運動会の保護者競技で交流の機会を作っている
 保護者会では園からの議題の後には保護者同士のグループ討議を計画している。運動会では保護者参加種目「じやんけん列車」を企画し、クワスを超えてつながることで顔見知りになったり、交流したりして親しく慣れるようにしている。クワスの親子競技でも子どもを通して交流している。保護者会の会場を併設の高齢者向け施設で行うようにしたこと、保育者が子どもの保育に戻った折は保護者同士話しをしてもいい、子どものおやつが済み保育園に迎えに来てもらうまでの間を交流する時間になっている。

保育参加や保育参観をしてもらい、保護者との共通認識を得るようにしている

保育参加・保育参観はいつでも受け付けているが、いつでもではなかなか実現しないので、日程を決めて、呼びかけている。個人面談の日には、午前中の保育参加や参観に誘っている。個人面談や保護者会で貰った意見にはできる限り応えるようにしている。保育園での子どもの様子が分からないという意見をもらった時には、月業の個別指導計画を見てもらっている。新入園児の保護者から子どもが保育園に慣れているかどうか不安という意見を貰った時には、個人面談をして、「丁寧に保護者の話しを聞くことで理解してもらおうことができる。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評

子育て支援事業として、**園庭開放・ふれあい保育・緊急一時保育**を行っている

児童館の子育て支援事業の講師を依頼され、6か月から1歳6か月の子どもを育てている保護者に保育園の生活状況などの話をしている。参加者は21名で、食事のこと、洋服の着せ方など具体的な育児の質問が多く出され、給食のレシピを配布し、園の園庭開放の案内を行っている。園の子育て支援事業として、**園庭開放、ふれあい保育、緊急一時保育、病児保育の紹介・仲介**をしているが、**園庭開放**は毎週水曜日10時～11時に実施し、ふれあい保育は電話で申し込みがある時に受け付け、1日1組で給食も提供している。

地域への子育て支援事業として**園庭開放**をしている

園庭開放の参加者はそれほど多くはなく、10月は3件であった。参加者には大まかな住所や子どもの年齢を記載してもらって、継続して来てもらえるように考えている。園庭で園児と一緒に遊ぶ中で、質問や相談がある場合には、栄養士や保育士・園長が話を聞くなどしている。

年度末の会議で子育て支援事業に関する反省会を行っている

年度末に子育て支援事業について反省会を実施しており、園庭開放についてはもともと来てもらえるよう知らせ方や呼びかけ方の工夫が必要ではないかなどの意見が出ており、散歩に行き隣にベシットなどを持って行き、出会った親子に渡し呼び掛ける等の案も出されている。区の事業である「ふれあい保育」は実施後にアンケートを実施している。

事業者が特に力を入れている取り組み①	
評価項目	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している
タイトル①	保護者と保育情報を共有するために、週案や保育日誌を掲示している
内容①	保育理念に「保護者の方と、子どもの成長を共に喜び、共に育てる保育園」と掲げており、年間保育指導計画を善の保護者会で配布・説明し、幼児クラスは毎週のねらいと子どもの活動(週案)を掲示している。日々の子どもの様子は連絡帳や保育日誌を掲示して子どもの様子やクラスの取り組みについて伝えており、分かりやすいように写真を一緒に掲示するなどの工夫もしている。クラスだよりを毎月発行して子どもたちの様子を知らせている。

事業者が特に力を入れている取り組み②	
評価項目	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル②	園内研修で保育環境をテーマに話し合い、保育室の使い方の見直しに役立っている
内容②	ホールで4歳・5歳が一緒に生活しているという環境があるため、限られた環境の中で子どもたちに落ち着いて遊べる環境を提供するために「をテーマに話し合いを重ねている。その結果を実践に移している。動かしやすい低い棚で部屋を仕切ること、午睡やリスム遊びの場を確保している。3歳児室を5歳児の食事室にしたことで、遊戯室の布回敷きが昼食中にできるようにになり、昼食後の生活の流れがスムーズになっている。園内研修は職員全員が3グループに分かれて話し合い、夜の会議でまとめていく。

事業者が特に力を入れている取り組み③	
職員のやる気向上に取り組んでいる	
評価項目	5-2-2
タイトル③	気づいたことを言い合える職場環境をつくり、職員皆で子どもの成長を支えている
内容③	利用児73名、職員数14名であり、区立直営園の中では小規模園である。そのため、担任以外の職員も含めて、全職員で子ども一人ひとりの成長を見守り、支えていくよう努めており、各種ミーティングで子どもの様子について活発な意見交換が行われている。職員アンケートからも、忌憚なく、気づいたことを言え合える、風通しが良い職場環境であることがうかがわれた。

No.	特に良いと思う点
1	<p>桜や銀杏などの季節を感じる樹木があり、豊かな自然に触れて遊んでいる</p>
2	<p>子どもの遊びが豊かになるように発達に合わせた玩具(積み木など)を取り入れている</p>
3	<p>公園などに散歩に出かけ、長く歩き、戸外で身体を動かして遊んでいる</p>
No.	さらなる改善が望まれる点
1	<p>利用者調査では、質問「行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか」に関して、「はい」と返答した方々は回答者の45%、1どちらともいえない」35.39%であった。自由コメントでは、「月末月初は忙しいので、夏祭りの参加が難しかった」「保護者会の開始時間はもう少し遅くして欲しい」などのさまざまな意見・要望が寄せられていた。できること、できないことなども含め、行事の日程設定に関して、園としての対応を保護者にアンケートバックすることを期待する。</p>
2	<p>より一層地域に役立つ園になるために、園独自の地域子育て支援の取り組みの再構築を期待する</p>
3	<p>区の事業として「ふれあい保育」「緊急一時保育」を実施し、園の事業としては、園庭開放を実施している。しかし、園庭開放のポスターは門外に掲示しているが、参加者は10月には3件で多くはなく、園庭開放のお知らせを散ら中に配布するなどを検討中である。今後、より一層地域に役立つ園になるために、園の環境や専門のノウハウを生かせる支援事業を検討したり、地域のニーズを把握するなどして、園独自の子育て支援の取り組みの再構築を期待する。</p>
	<p>ヒヤリハット用紙やチェックリストを活用し、リスク管理に対するより一層の取り組みが望まれる</p>
	<p>事故やヒヤリハットが起きた際は、すぐに園長へ報告し、屋の打ち合わせや会議議事録・園日記に記録し、職員間で情報共有している。怪我などについては、半年ごとの反省でまとめられている。また、園舎内・園庭の安全点検も区営繕担当が年1回行なうのみである。ヒヤリハット用紙や、園舎内・園庭・外回りなどの危険箇所を抽出するためのチェックリストを活用するなど、リスク管理に対するより一層の取り組みが望まれる。</p>

高井戸保育園



調査対象

利用児96名の保護者80世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：「父」12名、「母」53名、「父母一緒に」15名、無記入4名。調査票記入者の年齢：「25～30歳未満」12名、「30～40歳未満」40名、「40～50歳未満」18名、無記入4名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

80
80
64
80.0

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」24名(37.5%)、「満足」29名(45.3%)、「どちらともいえない」7名(10.9%)、「不満」12名(3.1%)、無記入2名(3.1%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の82.8%であり、サーベスに対して高い満足を得ている。
・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問3「保育時間の柔軟な対応」、問8「清潔保持・整理整頓」、問9「職員の接遇・マナー」、問13「フライングの保護」であった。
・自由記述では、「職員は」別のクラスの保護者にも声をかけてくれ、とても気持ちが良い」「保護者と職員との信頼関係が厚い保育園だ」と思う」などの声が寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	55	7	1	1
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	17	2	2
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	52	5	1	6

「はい」と返答した方々は回答者の81.3%で、保育時間の柔軟な対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「以前より柔軟になり助かっている」「急遽延長をお願いしたとき、快く対応してもらい、本当に助かった」等の声が寄せられた。

4. 安全対策が十分取られていると思うか	21	29	11	3
「はい」と返答した方々は回答者の32.8%で、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の45.3%であった。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「危険を回避しつつ自由な活動に心がけて欲しい」「安全対策として充分な環境が何かわからない」との声が多く寄せられた。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	43	13	7	1
「はい」と返答した方々は回答者の67.2%で、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の20.3%であった。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「選択肢に土曜日を入れて欲しい」等の声が多く寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「近隣の小学校と通園会が重ならないようにして欲しい」等の声が多く寄せられた。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	14	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の73.4%で、家庭と保育所の信頼関係に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「忙しくても迎えの時に、一日のことを丁寧に説明してくれる」「真剣に、真摯に対応してくれている」等の声が多く寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員によりけり」等の声が多く寄せられた。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	51	10	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の79.7%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「話はきちんと聞いてくれると思う」等の声が多く寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「ゆっくり話す雰囲気ではない」との声が多く寄せられた。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	61	2	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の95.3%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	53	10	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の82.8%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	49	12	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の76.6%で、緊急時の対応に関して概ね満足を得ている。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	36	21	3	4
<p>「はい」と回答した方々は回答者の56.3%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の32.8%であった。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「もっと詳しく状況を説明して欲しい」等の声が寄せられた。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	51	12	0	1
<p>「はい」と回答した方々は回答者の79.7%で、子どもの気持ちの尊重に関して概ね満足を得ている。「はい」と回答した方々からは、「子どものやりたいことを尊重してくれている」「親よりも子どもの気持ちに寄り添ってくれて、本当に感謝している」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「先生による」等の声が寄せられた。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	54	6	2	2
<p>「はい」と回答した方々は回答者の84.4%で、プライバシーの保護に関して高い満足を得ている。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	39	20	4	1
<p>「はい」と回答した方々は回答者の60.9%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の31.3%であった。「いいえ」と回答した方々からは、「クラス入口の黒板に、その日の流れを書いて欲しい」「指導計画などを共有していないのでコメントできない」等の声が寄せられた。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	11	3	3
<p>「はい」と回答した方々は回答者の73.4%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と回答した方々からは、「必ずしも反映されるわけではないこともあるが、きちんと聴いてくれる」等の声が寄せられた。</p>				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	26	17	6	15
<p>「はい」と回答した方々は回答者の40.6%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の26.6%、「非該当」と回答した方々は回答者の23.4%であった。「はい」と回答した方々からは、「入園時に投稿ポストがあることを説明された」との声が寄せられた。「いいえ」と回答した方々からは、「説明はなく、自分で調べて対応した」等との声が寄せられた。</p>				

1 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目		カテゴリ1	
No.	評価項目	標準項目	評価
1	リーダーシップと意思決定	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ1毎の標準項目実施状況	9 / 9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている 4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)	
	評価	標準項目	
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている 2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく	<input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当

法人全体で保育で大切にしていることを「保育の根っこ」という冊子にまとめている

保育理念・保育方針・保育目標を事務所前の廊下に掲示し、保護者・職員・関係者等に周知している。4月の各クラスの保護者会で、保護者に対して、保育理念・保育方針・保育目標等を伝えていく。職員に対しては、保育課程の中に保育理念・保育方針・保育目標などを明示し、周知している。保育園開設50周年を記念して、法人全体でリーダー層を中心に「保育の根っこ」という冊子を作成し、職員個々に配布している。この冊子に当法人が保育で大切にしていることを示している。

幹部層は、クラスを越えて子どもをみていくということを職員へ伝えている

「職務分担表」「役割分担表」「係分担表」を作成し、職員個々の役割と責任を明確化している。月1回、法人内保育園4園の幹部が集まる「施設運営会議」を開催し、法人方針を伝え、各園が法人方針と一つになるようすり合わせを行ない、法人との一体感の醸成を図っている。また、法人全体で看護師会、栄養士会議(月1回)、4園合同職員会議(年1回、非常勤も参加)などを開催し、法人内の横のコミュニケーションの場を設け、法人全体で有機的な連携を図っている。幹部層はチームで子どもをみていくということを職員へ伝えている。

園内の重要案件は、主に幹部会や職員会議で検討、決定している

保育の質向上を目指し、現場の問題課題について話し合う場を多様に設けている。たとえば、園内の重要案件は、主に「幹部会」(月1回、園長・リーダー・長・リーダー・事務が参加)や「職員会議」(月1回、園長・リーダー・調理リーダー・事務・看護師・保育士・用務が参加)で検討、決定している。そのほか、個々の子どもについては、クラスごとの保育会議(月1回)で情報共有している。その他、テーマ別の協議の場として、離乳食会議、調理スタッフ会議、安全対策会議、異年齢会議、防災会議などを設けている。

2 経営における社会的責任		カテゴリ-2	
		サブカテゴリ-1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評価点(〇〇)	
評価	標準項目		
○あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当
○あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評価点(〇〇)	
評価	標準項目		
○あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当
○あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に關する情報を開示している		○非該当
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ-2(2-2)	
		サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評価点(〇〇)	
評価	標準項目		
○あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当
○あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評価点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
○あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		○非該当
○あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		○非該当
○あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		○非該当
評価項目3 地域との関係機関との連携を図っている		評価点(〇〇)	
評価	標準項目		
○あり ○なし	1. 地域との関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		○非該当
○あり ○なし	2. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		○非該当

今年度、「子どもの人権」に関する研修を実施している

「職務にあたっての心得を共有廊下に掲示し、職員へ周知し、意識づけをしている。職員ハンドブックの中に「職員は子どもに大きな影響を与える存在であることを自覚し、身だしなみ・雰囲気・話し方・言葉等に充分配慮して日常の保育に当たること」などを明示し、職員へ教育指達している。今年度「子どもの人権」に関する研修を実施し、その先駆的取り組みを行っている。保育園への施設見学を実施し、子どもの心の基礎をつくる大切な事をしているという意識づけを図っている。

子育て支援事業として、「園庭開放」「身体計測」「ふれあい保育」などを実施している

子育て支援事業として「見学者受け入れ」「園庭開放」「身体計測」「ふれあい保育」などを実施している。利用している親子は多くはないが、在宅で子育て中の保護者に対して育児相談にも対応している。「ふれあい保育」では、近隣の認証保育園の園児が来園し、園児と一緒に遊んでいる。また、近隣の2か所の保育園の年長児との交流の機会もある。近くの高齢者施設とは双方で行き来しており、一緒に歌をうたったり、手遊びをしたりしており、高齢者にとって楽しみな時間となっている。

「ボランティア・職場体験記録」を用意し、園の改善に活用している

「ボランティア受け入れマニュアル」を用意し、リーダー長が担当し、マニュアルに沿って対応している。オリエンテーション時に口頭で個人情報保護について説明している。活動後、「ボランティア・職場体験記録」に記載してもらい、運営改善に活用している。ボランティアの中には当園の保護者もいて、ダイナミックな運動遊びをしている。また、月1回、絵本の読み聞かせのボランティアも訪れている。そのほか、中学生の職場体験や高校生の夏季のボランティア、保育専門学校・大学からの実習生も受け入れられている。

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している
 サブカテゴリー1(3-1) サブカテゴリー一年の標準項目実施状況
 8 / 8

評価項目1
 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(○○)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
○あり	○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
		○非該当

評価項目2
 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(○○○)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
○あり	○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
○あり	○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
		○非該当

評価項目3
 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(○○○)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
○あり	○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
○あり	○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
		○非該当

カテゴリー3の講評

苦情解決の仕組みを園内に掲示し、保護者に周知している

苦情解決委員会・第三者委員を設置し、要綱を作成し、それに則った対応に努めている。第三者委員は3名の方々に委嘱している。苦情解決の仕組みを園内に掲示したり、「保育園のしおり」に苦情解決委員会について記載し、保護者に周知している。また、意見箱も設置し、いつでも誰でもが投函できるようにしている。これまで、無記名での要望が投函された際は、園だよりにその内容と対応策を掲載し、保護者に周知している。

保護者の要望・意向を把握するため、アンケートを実施している

保護者の要望・意向を把握するため、アンケートを実施している。その実施後、集計分析し、その集計結果と保護者の意見への対応策をまとめ、保護者に文書でフィードバックしている。また、各行事の後、保護者から感想を聞き取り、次回の改善に活用している。日常の現場で寄せられた保護者の意向や希望には、クラス担任が個別に対応している。また、園長に意見や意向を伝える保護者も少なくない。その際は、傾聴の姿勢で受け止め、誠実な対応に努めている。

地域子育てネットワーク地域連絡会に出席し、地域の子どもに関わる情報を収集している

児童館 小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育園関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、子どもに関わる情報を収集している。また、区内私立認可保育園36園による園長会(月1回)に参加し、国・都・区の保育施策に関わる情報伝達を受けたり、各園との情報交換を行なっている。そのほか、区保育課主催の説明会や各種研修にも参加し、情報収集し、必要な情報を職員へ周知している。

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1(4-1)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

10/11

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる
評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(○○●)

標準項目	
評価	
○あり ●なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
○あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している
○あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
○あり ○なし	

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(○○○○○)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
○あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
○あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
○あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(○○○○○)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
○あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている
○あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している
○あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サマカネゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目¹⁾
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○非該当

カネゴリー4の講評

年次の事業計画・行事予定表を作成し、理事会で諮り、決定している

年次の事業計画・行事予定表を作成し、理事会で諮り、決定している。乳児、幼児それぞれのリーダーが次年度の計画を作成し、リーダーが総括し、幹部会で検討、決定している。計画作成にあたっては、保護者のアンケート結果や他園施設見学などで得た先駆的取り組みなども踏まえ、策定している。計画作成後は、職員会議などで、進捗管理を行ない、着実な実行に努めている。また、年度末には全職員で振り返りをし、活動実績をまとめ、事業報告書を作成している。

消防防災計画規程を作成し、計画に沿って避難・防災訓練を実施している

災害時に備え、消防防災計画規程を作成し、計画に沿って避難・防災訓練を実施している。訓練実施後、反省を行ない、次の改善につなげている。また、BOP防災マニュアルを作成中である。他方、感染予防として、オムツ交換の際は使い捨てエプロンの着用、手洗いの徹底に努めている。また、各居室に嘔吐物処理一式を置き、迅速に対応できるようにしている。「危機管理マニュアル」「感染症マニュアル」「保健衛生マニュアル」「給食衛生マニュアル」を用意し、職員個々に配布し、いつでもマニュアルに沿った対応ができるようにしている。

ヒヤリハットを沢山書き、リスクへの危機意識向上を図っている

今年度、法人内各園にリスクマネジメント委員会、法人全体で安全対策委員会を設立し、法人全体でリスクマネジメントに力を注いでいる。そのため、重大な災害や事故には至らないもの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の発見(ヒヤリハット)を沢山書き出すよう職員へ伝え、気づきを高めるよう指導教育している。ヒヤリハットは、各クラス会議・保育会議・異年齢会議などで情報共有し、改善策を検討し、事故予防につなげている。週1回、「園庭遊具用事故防止チェックリスト」を使って、園内の危険箇所について点検している。

カネゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカネゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

サブカネゴリー毎の標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(0000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる

評点(000000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点をに入れて策定している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを検証している
<input type="radio"/>	なし	

サブカネゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカネゴリー毎の標準項目実施状況

7 / 7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(0000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/>	あり	〇なし	〇非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	〇なし	〇非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	〇なし	〇非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	〇なし	〇非該当

カテゴリー5の講評

法人本部が募集・採用を行っており、毎年、新卒を採用している

法人本部が募集・採用を行っており、毎年、新卒を採用している。また、人事考課を導入し、「面談シート」を使って、年2回、團長と職員個々が個別面談を行ない、次年度の目標について確認合っている。また、要望なども把握し、職員のやる気向上や能力開発につなげている。年末に意向調査票を全職員に配布し、封筒に入れて、法人本部へ提出している。その意向調査を踏まえ、法人内他團への異動やケウラ担当などを決め、適材適所の人員配置に取り組んでいる。

外部講師を招聘しての有志による自主学習会も行なっている

法人主催・区主催・内部研修・OJT・自己啓発などで職員を育成している。研修派遣では、本人の希望や團長・リーダー長の指名などがある。自己啓発による研修参加の際も、研修費等最大限の配慮を行っている。研修受講後、研修報告書を提出し、職員会議などで他職員へ報告し、職員間で知識・スキルを情報共有している。また、クラス会議・保育会議・職員会議などで意見交換し、職員個々の気づきを促している。有志による自主学習会も行っており、外部講師を招聘し、保護者対応などについて学んでいる。

常勤職員の平均在職年数4.36年で、職員の定着率も良好である

平成25年度に法人全体で経験年数の多い職員に対して、定期昇給以外に給与のペーパーアップを実施し、賞与を増やし処遇改善を行なっている。希望休を取れるよう最大に配慮し、シフト調整し、生活のメリハリをつけるよう支援している。常勤職員の平均年齢39.6歳、常勤職員の平均在職年数4.36年で、職員の定着率も良好である。年1回法人内保育園4園で職員交流旅行を実施しており、職員への労いとして、園長は、職員個々の体調などへの心配りをし、仕事の悩みや相談に応じ、安心して働けるようサポートしている。

カテゴリー7

7 情報の保護・共有

サブカテゴリー(7-1)

情報の保護・共有に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいうように更新している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(0000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー7の講評

特定個人情報保護規則などの各種規程を策定し、それに即った対応を行なっている

【規則・個人情報保護規則・特定個人情報保護規則などの各種規程を策定し、それに沿った対応を行なっている。パソコンは11台配置し、各クラスごとに1台ずつ設置し、情報共有に活用している。パソコンにパスワードを設定し、アクセス制限を行っている。そのうち、インターネットにつながっているのは5台と限定し、個人情報が漏れないよう、定期的にセキュリティ対策を行なっている。USBメモリーを持ち出す際は貸出票に記入し、管理している。また、パソコンは持ち出されないように、ワイヤロックしている。

プライバシーポリシーを策定し、園内に掲示し、利用者・職員・関係者に周知している

プライバシーポリシーを策定し、園内に掲示し、利用者・職員・関係者に周知している。利用者情報の開示請求のための要綱も公開している。「保育園のしおり」には個人情報の取り扱い、情報公開の原則について記載し、入園時に保護者に説明している。「保育園特定個人情報取扱規程」を作成し、職員等の遵守事項、開示等を求める手続などについて記載し、これに即った運営に努めている。個人情報の取り扱いに関しては、職員ハンドブック内に記載し、職員会議などで話し合わせている。

8 カネゴリー1～7に関する活動成果

サブカネゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカネゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている

- ・カネゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カネゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カネゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

改善の成果

リスクマネジメントに力を注ぎ、危機管理、危機対応への意識改革を行なっている

- ・法人内各園にリスクマネジメント委員会、法人全体で安全対策委員会を設立し、法人全体で、コンサルタントを導入し、リスクマネジメントに力を注ぎ、危機管理、危機対応への意識改革を行なっている。当園でも、ヒヤリハットを沢山書き出すよう職員へ伝え、職員の気づきを高め、日常の保育の現場に潜む危険を予測する力を養っている。沢山のヒヤリハット報告書が提出されており、ヒヤリハットの定着が図れている。

サブカネゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカネゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている

- ・カネゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

子どもの絵画活動をより充実させるため、職員研修を重ねている

- ・園内研修として、「子どもの人権」を実践している園の先生に来てもらって話を聴いている。
- ・子どもの絵画活動をより充実させるため、今年度より職員研修を重ね、絵画への環境を整えた。

サブカネゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカネゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている

- ・カネゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カネゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

お泊まり保育を実施し、子どもの自信につなげている

- ・お泊まり保育を実施し、自宅から離れ仲間と過ごす経験を通し、子どもの自信につなげている。
- ・平成19年度より、計画的に、幼児クラスで異年齢保育に取り組んでいる。
- ・化学の日(5歳児クラス)を設け、子どもの好奇心を広げ、ハイキング(5歳児クラス)を通して食育へつなげ、お楽しみ会(全学年)では保護者と子どもへの成長を共有している。

サブカテゴリー4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

事業計画に適切な予算作りと正確な実行に努めている

・事業計画に応じた適切な予算作りと正確な実行に努めている。平成25年に職員給与のベースアップを図りながら、収支バランスの適正を維持している
 ・職員会議、保育会議等の一部を午睡の時間に行なうなどして、会議の持ち方を工夫し、残業時間の削減に取り組んでいる。

サブカテゴリー5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

アンケートを実施し、保護者の要望・意向を把握し、運営改善につなげている

・保護者の要望・意向を把握するため、アンケートを実施している。その実施後、集計分析し、その集計結果と保護者の意見への対応策をまとめ、保護者に文書でフィードバックしている。また、各行事の後、保護者から感想を聴き取り、次回の改善に活用している。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー1～3、6-5～6)

共通評価項目 サブカテゴリー1

No.	共通評価項目		サブカテゴリー1	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
1	サービス情報の提供			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評価	標準項目 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当

サブカテゴリー1の講評

区や法人のホームページなどで情報提供している他、パンフレットも作成している
 区のホームページや区が発行している「保育施設ガイド」「保育施設マップ」などの情報誌で情報提供している。ホームページでは、保育園の概要、施設の見取り図、保育目標、対象年齢や定員、主な行事、保育園の特色も紹介している。また法人のホームページでも、園の概要や保育内容(保育の方針、保育目標、保育上心かけている事など)、行事予定、特別保育事業などを詳細に掲載しているほか、園の昨年度までの事業報告をダウンロードすることができ、園からのお知らせを見ることができるようになっている。園のパンフレットも作成している。

ホームページでは園の保育の考え方や特徴などを分かりやすく伝えるようにしている
 パソコンで検索して情報を入力する人が多いと考えるので、ホームページは子育て中の年代の方々により分かりやすいものにしたと考えている。丁寧な保育をしていることや保護者の子育てを支えながら信頼を培っていること、乳児は基本的な生活習慣を身に付けさせ、幼児は自分の気持ちをコントロールすることができ、長く考えて行動できる子どもに育てたいことなど、当園の保育の考え方や特徴などを盛り込んだものになっている。より分かりやすいものにするために、今後リニューアルを予定している。

問い合わせや施設見学は希望者の状況に合わせて柔軟に対応している

見学の申し込みは電話で受け付けているが、9月～10月頃は見学者が大変多く1日4組を限度にしている。希望者の時間にに応じて受け付けているが、園としては11時頃の子どもの生活状況や遊んでいる様子を見てもらえるような時間を薦めている。土曜日を希望される場合にも受け付けている。園のパンフレットを配布し、施設見学をした後30分程度保育目標や保育の特徴、幼児クラスの玩具などの説明をしている。質問も受け付けているが、離乳食について、持ち物について、保護者参加行事についてなどが出されたりする。見学後には感想を書いてもらっている。

サブカテゴリー2

2	サービスの開始・終了時の対応			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評価	標準項目 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		評点(〇〇〇)
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当
		◎あり ○なし			○非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている

サブカテゴリー2の講評

入園時、「保育園のしおり」を基に園生活に関する説明をしている

入園内定した2月中旬ごろの土曜日午前中に園医による健康診断、身体計測と面接を実施している。事前に渡して記入してもらった書類(入園時健康調査、家庭での生活状況票、食事状況票、面接票など)を持って親子で来園してもらっている。面接は園長・リーダー2名の計4名で行い、保育園のしおりに基づいて、年間行事予定、保健のこと、保育園の与薬、個人情報取り扱い、各クラスの持ち物などの様々な説明をしている。面接が終わった後、2月下旬の職員会議で、面接情報を職員に伝えている。

4月の保護者会で子どもの発達過程などの具体的な保育に関する説明を行っている

4月早々に、各クラスで保護者会を実施している。時間は17時30分～18時30分である。保育園が大切にしている「クラスを超えて園全体の子どもたちが交流する」などを説明している。担任からは子どもの発達過程について、看護師からは病気や健康について説明し、全員の自己紹介もしている。0歳児は慣れ保育が終わる頃に15時30分から子どもを膝に抱いて一緒に行き、栄養士も参加して離乳食のことについて説明している。当日は年間予定表を配布して、年長児のお泊り保育のことなど説明したり映像で見てもらったりしている。

慣れ保育は個別事情に配慮して、離乳食の初回時は保護者に食べさせてもらっている

入園面接時、家庭の事情とともに慣れ保育についても話をしている。仕事の状況や子どもの慣れ具合により、初日から預かる場合や、緩やかに進める場合など、保護者と相談しながら進めている。目安として、初日は親子で9時から10時までの1時間を一緒に過ごしてもらっている。1日2人ぐらいにしているが、離乳食を初めて食べる時、保護者に来てもらって食べさせてもらい、栄養士も同席している。保護者に離乳食の味も見てもらっている。0歳は安定して過ごすために家庭での生活習慣や園々の特徴を把握し、子どもにも負担がないよう保育している。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面に明示している

評点(〇〇〇)

標準項目	
評価	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価		標準項目
○あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、 <u>養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している</u>	○非該当
○あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
○あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
○あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
○あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価		標準項目
○あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
○あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

評価		標準項目
○あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
○あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ3の講評

保育士や看護師は子どもの様子を保育日誌や連絡帳、保健日誌、児童票に記載している
毎朝受け入れ時に行っている子どもの観察と連絡帳や口頭による子どもの状況・家庭の事情等の情報を伝達ボードに記載し、配慮しながら保育をして子どもたちの様子などを保育日誌や連絡帳に記載している。0・1・2歳児は個別日誌をつけている。保護者の保育参加・参観・一日保育体験はいつでも受け付けているが参観後には15分程度の面談を行い、家庭のことなどを話し合い、アンケートを買っている。子どもの保育経過記録や身体測定や健康診断などの健康に関する記録、個人面談記録は児童票に記載している。

法人の基準「保育の根っこ」を基に、子どもの姿を踏まえて次月の計画を立案している

当法人の基準となる保育カリキュラム「保育の根っこ」を基に、子どもの成長発達を踏まえた上で月案を作成している。あくまでも先月の子どもたちの姿を踏まえて、次月の計画を立てている。計画は担任同士が話し合い作成しているが、日頃の5分間反省を生かしている。クラス会議は月1～2回17時から実施し、担任同士で子どもたちの情報を共有するため、他の職員が保育を保障している。月のねらいはクラスだよりに掲載して保護者に知らせている。4月の保護者会では子どもの姿や年間行事予定の目的などを事前に伝えている

「伝達ボード」「ホワイトボード」などを使って職員間で情報を共有している

職員間の情報共有のために、「伝達ボード」や「ホワイトボード」、日々起きた細かい事柄をノートに記載している。伝達ボードは家庭からの情報と保育園から保護者への伝言を書いている。ホワイトボードは子どもたちの怪我や連絡事項を職員間で共有している。「あんなことこんなことノート」にも書き記している。計画類は常時事務所の机に置き、見ることができるようにしている。パート職員にもカリキュラムを渡している。半期反省の時には全職員が書類を読み込んで参加し、子どもの発達や配慮点、気になる子どもたちの関わり方などを確認している。

5
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重
評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評価点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部位とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評価点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当

サカテゴリー5の講評

個人情報の取り扱いに関する取り組みを定め、保護者にも公表している

個人情報保護に関しては「個人情報保護規則」「個人情報取り扱い事業に関する概要書」「プライバシーポリシー」を定めて個人情報保護法の遵守に努めている。保護者には「保育園のしおり」で個人のデータの徹底管理について示しており、個人のロッカーや誕生カード等の個人名の表示やホームページの写真掲載については承諾しない場合は表示不許可届を出してもらっている。また、事務所前の廊下の中には「個人情報の保護に関する法律に基づく公表事項」を職員、保護者がいつでも見ることができるようになっている。

年度初めに子どもの権利条約の話をし、「子どもの権利」を園内研修で学んでいる

年度初めに子どもの権利条約の話をして、「後から抱き上げない」「おむつを替える時も、黙って取り替えないで声掛けをしながらする」など、乳児の頃から子どもの権利を大切にしている。「認め言葉を使おう」「子どもの側に行って話そう」「子どもの言葉を受け止めてから伝えよう」と話している。子どもの思いを受け止め、散歩に行きたくないのかを聞き、可能ならその子の思いを実現させるようにしている。園内研修として、「子どもの人権」を実践している園の先生に来てもらって話を聴いている。

保護者の状況や考え方を良く聞き、できるだけ受け入れられている

保育時間は決まっているが、仕事が遅くなるなどの理由で朝起きられない場合は、登園が遅くなる人もいる。9時30分までに登園し、まじょうと呼び掛けているが、遅くなる場合は連絡をお願いしている。子どものトイレットトレーニングやお箸の使用などは、保護者の考え方や思いを良く聞き、子どもの状況を共有しなからすすめている。家庭の子育ての考え方により、習い事などで早退するケースも受け入れられている。

評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		標準項目		評価	評点(〇〇〇)
		標準項目			
●あり	○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当	
●あり	○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当	
●あり	○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		標準項目			評点(〇〇〇)
		標準項目			
●あり	○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		○非該当	
●あり	○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当	
●あり	○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		○非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		標準項目			評点(〇〇〇〇〇)
		標準項目			
●あり	○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		○非該当	
●あり	○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		○非該当	
●あり	○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		○非該当	
●あり	○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		○非該当	
●あり	○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		○非該当	

法人共通の「職員ハンドブック」にマニュアルを掲載し、職員各自が持っている

法人が運営している4園共通の「職員ハンドブック」として、「会議や研修について」、「園長・リーダー・コリーナーの役割について」、「延長保育について」、「アレルギー児の対応について」等のマニュアルを整備している。保健面の「感染症」「保健衛生」、給食関係の「給食衛生」「アレルギー対応給食」、保育士の「職務」などのマニュアルも揃っている。「職員ハンドブック」を職員各自持ちとして、必要に応じて活用している。

見直しは法人の施設運営会議で検討・決定し、4園合同の職員会議で周知している

法人が運営している4園で給食会議や栄養士会議を開催している。マニュアルの点検や見直しについては、見直す必要があるという場合は、年度末までに職場から声が上がると、幹部会で検討し、施設運営会議において検討され決定となったものが各園に降りてくるシステムになっている。4園の職員が一同に会する会議が年1回設けられており、「職員ハンドブック」に関することや4園共通のことに関して見直しなどなどを読み上げて周知している。

各種会議を開催して情報の共有を行い、研修に参加して知識や技術を学んでいる

各種の打ち合わせを行い職員間で情報共有をして同様の対応ができるようにしている。木曜日を会議の日にして、第1木曜日昼間に全職員の職員会議を開催している。自家の子どもの養護や配慮点、気になる子ども関わり方なども話している。保育会議には保育者、看護師、調理が参加している。昼の会議は午睡当番以外全員参加して、参加できなかつた人には会議録で知らせている。その他、職員は知識や技術を学ぶために区役所や保育団体主催などの様々な研修に日程調整や保育者のやりくりをして参加し、参加後には職員会議で報告等をしている。

Ⅲ サービスの実施項目(カネゴリー-6-4)

サカネゴリー-4

サカネゴリー毎の
標準項目実施状況 35 / 37

1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている		評価	標準項目	評点(〇〇〇〇〇)
●あり	○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当	
●あり	○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している	○非該当	
●あり	○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	○非該当	
●あり	○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり	○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	

評価項目1の講評

子どもが自分で遊びを選び、仲間と遊べるように、主体的に遊べる環境作りをしている

室内環境では、子どもが自分で遊びを選ぶように、仲間と一緒に遊べるように、ままことや絵本、積み木、机上游び(塗り絵、絵描き、パズルなどのコーナー)を作っている。コーナーは子どもたちの年齢や子どもたちの遊びの様子により、変更している。幼児組ではどの部屋に行っても楽しいことになっている。月刊の絵本を取っており、一人ひとりの絵本がウォールボードに入っており、自分のものを好きな時に出して見ている。また、1か月が終わると家庭に持ち帰り、家庭と園で絵本を通して共有している。

異年齢交流「えがおの日」を月1〜2回実施し、「えがおだより」を発行している

子どもの心を大切に、年齢を超えた関係を子ども自身が持てるようにと考えて異年齢交流の年間計画を立てている。3・4・5歳児をほいつき、にじの3つのグループに分けて、1年間一緒に活動している。活動の日を「えがおの日」と呼んで月に1〜2回午前中にグループ活動(異年齢便り)を発行している。実践後には振り返りの会議を行い、参加可能な限りの職員が参加して意識を共有する機会にしている。

子どものトラブルは子ども同士や保育者の位置などを見直して対応している

子どもの発達過程における噛みつきやトラブルについては、保護者会やクラスだよりを通して思いを言葉で表現することの難しさによる行為として伝えている。乳児期を中心に起こるかみつきなどのトラブルは、たび重なるようであれば、子ども同士や保育者の位置などの関係図を書き、気づくことがあれば保育を見直して対応している。噛まれた子どもの保護者に対しては状況の説明をして、保育中のトラブルは園の責任であることから謝罪をして、今後の対応についても話しているが、噛んだ子どもの保護者には伝えない。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり	○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
●あり	○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている
●あり	○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している
●あり	○なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている

評価項目2の講評

毎日の生活の場面で始末の仕方を統一して繰り返し行い、生活習慣を身に付けている
園では保育上の心がけていくこととして、「身の回りの始末の仕方を統一して、子どもが迷わずに基本的な生活習慣が身に付くようにしていきます」を奉じている。子どもは遊びながら、生活しながら生活習慣を身につけていると考えているので、手洗いや、食事、排泄等生活の場面ごと同じように繰り返している。生活習慣を身に付けることの大切さや一人ひとりの子どもを育ちを見守りながら援助していくことをクラスだより、食事だより、ほげんだよりなどを使って保護者にも伝えていく。3・4・5歳児は各自で自分の食事の盛り付けをしている。

午睡は個々の子どもの状況に応じて、時間や長さなどを配慮している

幼児で眠くないという子に対しては休息の大切さを伝えていく。身体を横にしてしばらく休息しても眠れない場合には起こして、本を讀んだり静かに遊んだりして過ごさせていく。子どもの体調がすぐれない様な時には早めに寝かせる等の対応をしている。5歳児で就学前になると、入眠しない子には少し体を休めるために横になるだけで、卒園制作をする等しており、保護者には寝ていないことを伝えていく。休息の時間は少しでも取るようにしている。

日中の子どもの様子を連絡帳やホワイトボードで伝え、口頭でも伝えていく

毎朝の受け入れの時には保護者と直接話をし、家庭での子どもの様子について情報を得ている。保育上必要な情報は「連絡ボード」に記載し、当番から担任に引き継ぐ際にも利用している。日中の子どもの様子は、乳児組では連絡帳を活用して伝えていくが、幼児組ではホワイトボードを活用してその日の活動を伝える。グループや個人等の行事があった時には写真にイラストを入れてポストカードを作成して玄関に貼り出し、見てもらっている。お迎え時には、保護者に子どもの状況と連絡事項を直接伝えていく。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自覚性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○非該当

評価項目3の講評

一人ひとりの子どもの興味や関心を保障するために職員間で声を掛けあって協力している

0歳児で伝い歩きを始めた子どもがいれば、伝い歩きが安全にできるように子どもの姿に合わせて環境を見直している。一人ひとりの遊びや子どもの興味や関心を保障することを大事にするために、フリーの職員を活用して保育の中で声を掛けあつて必要などころに入ってもらい、子どもについてももらうようにしている。子どもの活動は静と動を大切にしてい、室内では静かな活動、戸外ではしっかりと体を動かして遊ぶようにしている。子どもが落ち着かない時は、必要に応じて、園長やリーダーが個別に保育したりしている。

「体操教室」「お泊り保育」など子ども同士が興味をもつて取り組み活動をしている

運動会は園児全員が参加しており、保護者には子どもの今の姿を見てもらいたいと思つている。秋まつりは園庭で16時30分から全園児が親子と一緒に楽しむ機会にしている。4・5歳児の専門講師による体操教室は週1回で、各クラス45分間で行つている。バス遠足で幼児組は新立公園に行き、トンブリや木の葉を拾ってきたりしている。お泊り保育では、バスで出かけて宿坊に泊り、自然の中で仲間と力をあわせて過ごす時間を大切にしている。また、天狗の木を見て山歩きをしたり、夜は花火をしたりしている。

五感を大切にしたいと考え自然に触れて楽しむ、季節の変化を感じる活動をしている

駅に近いが、園の周囲は川があり川沿いの道の自然に触れて楽しむ、セミやトカゲに出会うこともある。保育者が「風の音を聴きに行こう」などと子どもを誘い、園庭や川沿いの道の桜の花びらが舞い散る様子を眺めたり、葉っぱが色づいて落ちるのを見る等、季節感を味わわたりしている。五感を大切にしたいと考えており、夕方になると眠くなることに気づいたり、雨合羽を着て外に出てみたり、霧柱を降らせている。カブトムシやカタツムリを飼育して、「ニンジン」を食べさせるとオレンジのジュースを作るねえ」など子どもたちはよく観察している。

4 評価項目4
行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

「秋まつり」や「お楽しみ会」では、日頃の遊びを形にして見てもらっている

行事は、日頃遊んでいることを形にして発表する機会であり、行事の目的に合わせて行っている。七夕の笹もやしなどは伝統文化を知らせる意味もある。秋まつりは親子で楽しむ会にしており、子どもたちは保護者の前で張り切ってハッピーステーションダンスを踊り、ヨーヨー釣りや輪投げなどのゲームと皆で益踊りをしている。12月のお楽しみ会は、見に来る保護者もあり、日頃歌っている歌や4月から遊んできたことを繋げて子どもからのアイデアを出し合った劇ごっこなどを行っている。乳児と幼児を別に行い、乳児は手遊びやごっこ遊びをしている。

行事予定を早めに知らせ、行事の意味などを説明している

保護者参加の保育行事は9月の「秋まつり」と10月の「運動会」であり、早めにお知らせして予定に入れてもらうようになっている。4月の保護者会で行事予定と行事の意味合いを伝えている。また、クラス便りで行事に向けた取り組みの様子などを知らせている。行事ごとにお知らせを配布している。運動会や秋まつりは園庭で行っている。12月の「お楽しみ会」は子どもの行事であり、保護者は自由参加であるが、参加を希望されることが多くなっている。

地域の大人や高齢者、音楽家、ボランティアなど職員以外の人との交流をしている

運動会と秋まつりには空團児に葉書を出して招待している。園庭で開催しているので、園舎の上の団地の人たちにも、行事開催のお知らせと参加を呼び掛けてポスターを掲示している。童謡歌手やマリンバ演奏者に来てもらうことでコンサートを開き、子どもも音楽に触れて心地よい時間を過ごしている。5歳児は科学の日として、ボランティアでの理科の先生と年間5～6回、「水の上で動く紙」などの実験を経験している。地域の狐士会の人たちの協力をもらい、子どもたちに伝承文化を伝えている。年長児は、小学校との交流を図り、学校への期待を膨らませている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

19時までには0・1歳児と2歳以上児の2グループに分かれて保育している
 低年齢児は少人数グループで保育をしており、夕保育の18時30分まではクラスで保育をしている。延長保育になると、0・1歳児のグループと2歳以上児のグループで19時まで過ごし、その後3歳児室で一緒に過ごしている。延長保育は定員23名で登録児も23名である。乳児室は床が冷えないように床暖房になっており、柔らかなマットでくつろげる雰囲気になっている。また、子どもの遊びが細切れにならないようにも心がけて、夕方の保育では遊び込めるように箱などの廃材を使った制作遊びなどを行っている。

保育者が子ども同士の仲立ちになりながら、異年齢の交流は自然に行われている
 異年齢の触れ合いを通して思いやりや憧れの気持ちや育むことをねらいとして保育している。日中の自由遊びの時間も、兄弟のいる子どもは兄弟のいる部屋に入って遊んでおり、異年齢同士の交流は自然に行われている。よちよち歩きの子ともかいると、ふざけて遊ぶのを止めたり、小さい子どもが絵本を取ろうとすると「これが見たいの、取ってあげようか」と手を差し伸べたり、折り紙を折ってくれたりしている。保育者は、年上の子どもが年下の子どもとの対応がわからないような時には教えてあげている。

連絡事項は「連絡ボード」に記入しておき、担任または当番が口頭で伝える
 連絡事項は「連絡ボード」に記入しておき、担任または当番が口頭で伝える
 0・1・2歳児クラスは連絡帳を使用して、日々の子どもの様子を伝えている。保育中に起きたこと、個別に連絡する必要があることは口頭で伝えることを心がけている。担任は「連絡ボード」の「保育園より」の項目に書き留めて、保護者に連絡したり、当番に引き継いで伝えてもらったりして情報伝達の漏れを防いでいる。保護者が子育てに不安があるような時、例えば、噛みつきが多くなった、友達とすぐ1対1トラブルを起こすようになったなどの子どもの変化や、保護者がか心配や不安を抱えた時は保護者と担任が面談をしている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価項目	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当

評価項目6の講評

和食が中心の献立で食材にもこだわり、美味しく食べられるようにしている

区立共通の献立を参考にしながら、園独自の2週間サイクル献立を作成している。薄味で和風の献立中心であり、旬の食材本来の味や素材の味を生かすようにしている。米食の献立が基本で、米は減農薬、減化学肥料の物であり、砂糖もこだわり、ある産地のものを使用している。酢の物などは人気があり、乳児でもスプーンサラダを良く食べている。年度末には、子どもからリクエストを取るなどしてハイキングをしたり、クリスマス献立や鬼ランチ、ひな祭りランチ等季節の行事に合わせた行事食も提供している。

野菜の栽培や食材に触れる活動、調理体験をし、食育に取り組んでいる

「健康に生きていくための食生活習慣を身につけることをねらいに、食育に取り組んでいる。旬の野菜の本物を子どもに見せ、魚は調理する前に写真に撮ってみせたりしている。野菜の栽培では夏野菜(ミニトマト、ピーマン、オクラなど)の水やりをしたりして育て、おくらときゅうりの塩もみやピーマンのバター炒めなど子どもの目の前で調理して食べている。魚をさばいて見せたり、子どもが食材とかわる経験として豆類のさや向きや皮むきなどをしている。調理体験もクッキーや月見団子作り、カレー、味噌汁作りをしている。

園の給食や食育の取り組みについて「食事だより」を発行して伝えている

毎月、幼児食、離乳食、延長食の「給食献立表」を配布している。毎月発行している「食事だより」では食材や栄養、食育の取り組みなどについて情報提供している。毎日給食(離乳食も含む)の展示をしている。0歳児の子どもが園で初めて離乳食を食べる時には保護者には味見をしてもらっている。また、保育参観や保育参加、一日保育士体験などの園に來てもらえる機会には、給食を希望すれば、有料で食べることもできるようにしている。

7 評価項目7
子どもが1身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りについて子どもに伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当

評価項目7の講評

身の回りの危険や病気を防ぐ方法を子どもに分かりやすく知らせている

幼児を対象に健康教育の計画を立てている。手洗いの仕方や歯の磨き方などは実地指導をしている。咳エチケットではハイキンが飛んでいる様子を、実演を交えて知らせるなど、視覚に訴えて子どもにわかるように知らせている。怪我や危ない遊びが流行る時には、脳や血管の話をして紙芝居も作って見せている。人形の頭の中の脳みそに見立てて豆腐を使い、落としたりどうなるかなどを伝えて危険を知らせている。散歩で園外に出る際には、道路の歩き方などの交通ルールや公園の遊具の使い方などを知らせている。

慢性疾患などで保育園での与薬が必要な場合のみ、与薬をしている

現在は薬を預かり処方しているケースはない。慢性疾患などで、保育園での与薬が必要であると判断した場合には、与薬依頼書と薬剤情報提供書を提出してもらい、与薬している。過去には、保育上必要な状況から保護者に了解を買って要診時に同行した経験もある。月2回の0歳児健診の折に、園医に園児の健康面の相談をしている。

感染症発生時は直ちに掲示して注意喚起をし、保健衛生に関する情報提供をしている

乳幼児突然死症候群(SIDS)については、保護者会で園の取り組みを知らせている。うつぶせ寝にはさせないことや子どもの枕元には物は置かないことなどであり、全園児の睡眠チェックをしており、0歳児は10分ごと1に体位や顔色、呼吸をみて、4・5歳児には30分ごとのチェックを実施している。園で感染症が発生した場合は掲示して知らせている。区や保健所などから感染症予防のポスターが送られてきた場合には掲示している。また、毎月「ほけんだより」も発行している。頭しらみの場合には家庭でもチェックしてもらっている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

評価項目8の講評

保育方針「保護者の子育てを支えます」に沿い、就労や家庭の状況に柔軟に対応している
 保育方針の一つに「保護者の子育てを支えます」と掲げており、保育時間は就労時間と通勤時間、職場環境などから決めているが、就労状況や家庭の事情に応じて柔軟な対応をしている。やむを得ない事情や緊急を要する事情で通常の保育時間までに迎えに来れない場合は、又ボスト延長を受け付けている。また、困りことや育児相談などを事務所ですべて受けている。海外出張になりその期間の土曜日保育を依頼されたり、家族が入院して迎えるの人に困るなど、家族が抱えている問題を聴いて、可能な限り園で対応したり、家族支援の制度を知らせている。

保護者との連携を重要視し、園の取り組みを園だよりや写真などで知らせている

保護者との連携を重要視しており、園の様子が分かるよう毎月「園だより」や「クオラ」などを発行し、乳児組では連絡帳で子どもの様子を知らせ合っている。幼児組は今日の活動をホワイトボードで掲示して知らせている。園で撮影した写真を業者に依頼して、ホワイトボードにかけて保護者が自宅のパソコンで見ることができるようにし、園の取り組みを知らせる一助になっている。年2回実施している保護者会の2回目には、共通の悩みを出し合ったりして、保護者同士が話し合える企画にしている。保護者参加行事も交流する機会になっている。

保護者会や個人面談、行事後のアンケートで保護者からの意見を貰い、次に生かしている

保護者に関する考えや意見を聞く機会として、保護者会や個人面談があり、保護者参加行事の運動会、秋まつりの後にアンケートも実施している。行事後のアンケートでは、園庭での保護者の写真の撮り方について、指定された場所ではないところ撮影している人がいたことや、優先席に座るはずが優先席ではなかったなどの意見を貰っている。保護者からの意見は、翌年のお願ひ事項に入れ込み、皆で気持ちよく楽しく参加してもらえようように協力を呼び掛けている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(○●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○非該当
○あり ●なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評

区の事業のふれあい保育、緊急一時保育のほか、園庭開放を実施している

区の取り組みの「緊急一時保育」や「ふれあい保育」を実施しているが、「ふれあい保育」は3歳以上児が対象で年に5～6組の利用があり、参加した子どもが入園することもある。その他、「園庭開放」を毎週火曜10時から実施し、参加者には身体計測も実施している。園のパンプアップにも掲載して知らせている。在宅家庭の利用は1～2組であるが、近隣の認可外保育施設の子どもたちが毎週火曜日遊びに来ている。

事業者が特に力を入れている取り組み①	
評価項目	6-4-3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	乳児室には床暖房や給湯器を導入し、心地よい豊かな生活環境を提供している
内容①	園庭では桜の花を眺め、柿の実を食べており、ロケハハウスで遊んでいる。保育室内はオーダーメイドの木製家具を使い落ちついた雰囲気になっている。乳児室は床が冷えるという職員の意見が寄せられたことから、床の上にはマット風に敷くタイオアの床暖房を設置して、現在は寒い時期でも温かくくつろげる環境になっている。保育室の手洗いも冷たい水では子どもが手洗いにいとこの意見があり、給湯器を付けてお湯が出るようにしている。施設は新しくないが子どものために豊かな生活環境なるように努めている。

事業者が特に力を入れている取り組み②	
評価項目	1-1-1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している
タイトル②	保育の質向上や職員育成などで、法人4園が有機的な連携を図っている
内容②	法人内に4園を保有し、これらの園が有機的な連携を図り、法人全体で保育の質向上や職員育成に取り組んでいる。その一環として、保育園開設50周年を記念して、保育で大切にしていることについて、法人リーダーを中心とした保育の根っこという冊子を作成している。また、法人全体で安全対策委員会を設立し、法人全体でリスクマネジメントに力を注いでいる。そのほか、年1回法人内保育園4園で職員交流旅行を実施しており、組織内様のコミュニケーションを活性化し、法人との一体感を醸成すると共に組織の活性化につなげている。

事業者が特に力を入れている取り組み③	
評価項目	5-2-1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル③	自主勉強会を継続実施し、保育の質向上を図っている
内容③	職員の研鑽意欲は高い。職員が自己啓発で参加した研修が大変役に立ったことから、その講師に依頼し、園に来てもらい、自主的な勉強会を始めている。毎回、2時間かけて保護者対応・カウンセリંગなどについて学んでいる。

No.	特に良いと思う点	
	タイトル	食材にこだわり、米飯を基本にして和風の献立を中心にした美味しい給食を提供している
1	内容	保育目標に「しっかり食べる子」を挙げて、見ても食べてもいい給食作りを心がけている。米食が基本で、旬の食材や素材の味を生かし、なますや焼き魚などの和食が中心の給食を提供している。食材にもこだわり、米は佐賀県産の減農薬、減化学肥料の物で、炒飯は喜界島産を使用している。子どもが食欲やお腹が緩い時には特別メニューを提供している。子どもが食材に触れる経験として、そら豆のさやむき、スナックえんどうの筋とり、野菜の皮むきなどの手伝いや、クッキー・月見団子作り・カレー作り等をして、子どもの「食」への関心を高めている。
	タイトル	地域の郷土会や高齢者福祉施設、ボランティアなど、様々な年令の人と交流をしている
2	内容	1月に実施している餅つきは、地域の郷土会の方が手際よく餅をついたり、子どもたちに餅をつかせたり、つきたての餅を食べさせてくれたりしている。地域の高齢者福祉施設と年3回以上交流をし、子どもたちのソラソラ餅の踊りを見てもらったり、来園して園庭で子どもが遊んでいるのを見たりしている。5歳児対象にして地域のボランティアによる絵本の読み聞かせをしてもらっている。地域の畑でジャガイモ掘りをさせてもらい、地域の認可外保育所の子どもたちが毎週火曜日には園庭開放に遊びに来ている。
	タイトル	「えがおの日」の活動も含め、日常の遊びでも異年齢交流が行われている
3	内容	異年齢交流の年間計画を立て、月に1～2回「えがおの日」として1年間一緒にグルーピングで活動している。日常から、園庭遊びや幼児組の自由遊びの時間は子どもたちが自由に行き来して、兄弟の部屋や自分の遊びたい所で遊んでいるので、小さい子との接し方もわかってきている。園庭での歳児が臼子ヨチしながら遊んでいると、ドッチボールをしている幼児が気づいて、自分たちから「今は危ないからやめようよ」と小さい子への心遣いをしている様子が見られ、年齢を超えたつながりが育ってきている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
	タイトル	より一層の保護者と連携した保育を目指して、保育情報の開示等の検討を期待する
1	内容	乳児組では連絡帳を使用し、幼児組はホウイボードで子どもの様子を伝え、保護者との情報共有を図っている。保護者会は年2回、個人面談を1回実施し、クラスの子どもの発達過程を話し、毎月発行のクラスだよりで子どもの姿やクラスの様子を知らせている。しかし、利用者調査では「保育内容の説明は分かりやすいか」に対して、「はい」と返答した方々は回答者の80.9%であった。今後、より一層保護者と連携して保育を進めるために、指導計画や活動内容などの保育情報(記録)の開示の工夫等、職員間で検討されることを期待する。
	タイトル	地域の子育て支援のニーズを把握して、園で取り組める支援事業の検討を期待する
2	内容	在宅子育て家庭向けの支援としては、区の取り組みの「緊急一時保育」や「ふれあい保育」と園独自の「園庭開放」を実施している。「ふれあい保育」には年に5～6組の利用があるが、「園庭開放」の在宅家庭の利用は1～2組と少なく、園のパンフレットに掲載し、ポスターを掲示しているが、近隣の認可外保育施設の子どもたちが遊びに来ているだけである。これまで、積極的な事業展開をしていないことから、今後、地域の子育て支援のニーズを把握して、園で取り組める支援事業の検討を期待する。
	タイトル	定期的なストレスチェックの実施など、メンタルヘルスの充実が望まれる
3	内容	保護者の心の安定が子どもの健全な育ちに結びつくという考えのもと、保護者支援も大切に行っている。しかし、保護者の置かれた環境はさまざまで、保護者のニーズは多様化している。保育士の仕事は、「相手の感情によりそって仕事をする」という特徴を持っているため、高度な感情のコントロールが要求される。そのため、職員の心理的負担は大きい。今後は、定期的なストレスチェックの実施など、メンタルヘルスの充実が望まれる。

高円寺北保育園



調査対象

利用している子ども95名の保護者86世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：「父」1名、「母」54名、「父母一緒に」12名、無記入4名。調査票記入者の年齢：「25～30歳未満」12名、「30～40歳未満」133名、「40～50歳未満」22名、無記入4名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

86
86
61
70.9

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」133名(54.1%)、「満足」123名(37.7%)、「どちらともいえない」13名(4.9%)、無記入2名(3.3%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の91.8%であり、サーベスに対して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問2「戸外遊びの工夫」、問3「保育時間の柔軟な対応」、問4「安全対策」、問5「行事の日程」、問6「家庭と保育所の信頼関係」、問7「職員の関心姿勢」、問8「清潔保持・整理整頓」、問10「緊急時の対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」、問14「保育内容の説明」、問15「不満や要望への対応」であった。
 ・自由記述では、「子どもが毎日笑顔で通っている」「家ではできない工作や遊びを経験できてありがたい」などの声が寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数		
	はい	どちらともいえない	いいえ 無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	60	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の98.4%で、食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「園での食事は、家ででも食べたいと子どもからリクエストされる」「日々の給食はもちろん、行事食や誕生日食は見た目も素晴らしいと感じた」「レシポをもらい、給食勉強会があり、ためになる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「もう少し和食を提供して欲しい」との意見が寄せられた。			
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	50	10	1
「はい」と返答した方々は回答者の82.0%で、自然や社会との関わりに関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「公園に行くことや園庭遊びも豊富」「少ない時間でもなるべく戸外活動をしている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「午後も戸外遊びができるとなお良い」との意見が寄せられた。			
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	57	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93.4%で、保育時間の柔軟な対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「当日直前でも受け付けてくれるのでありがたい」「電車遅延にも対応してもらい、ありがたい」等の声が寄せられた。			

4. 安全対策が十分取られていると思うか	50	10	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の82.0%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「低年齢は職員 の配置も多い」との声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「2階の階段に安全ゲート(柵)を設置して欲しい」「 建物が古い」「耐震性が心配」等の声が寄せられた。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	58	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95.1%で、保護者に配慮した行事日程の設定に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々 からは、「年度の初めに行き先を知らせてくれるので調整しやすい」「クラス会を夕方以降に設定してもらい、仕事に影響せず助かる 」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「たまに日曜日の行事があると助かる」等の声が寄せられた。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	10	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の80.3%で、家庭と保育所の信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、 「発した言葉に対応してくれるので、ちょっとしたことでも見てくれると感じます」等の声が寄せられた。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	49	9	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の80.3%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「 話を聴くと言うより、共に子どもの話をするとと思う」「信頼は充分おいているもの、お互い話をする時間がないため考えま では共有できていない」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「大切にしていることは各家庭で異なる と思うので、返答が難しい」等との声が寄せられた。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	8	0	3
「はい」と返答した方々は回答者の82.0%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「いつも掃 除に清掃してくれている」等の声が寄せられた。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	47	11	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の77.0%で、職員の接遇・態度に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「若い職 員が多いですが、とても丁寧な対応である」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「時々気になる言葉遣 い、対応、服装の時がある」等との声も寄せられた。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	54	3	1	3
「はい」と返答した方々は回答者の88.5%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「職員は) 丁寧に様子を見てくれており、安心です」「とても丁寧に対応してくれるので、ありがたい」等の声が寄せられた。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	43	13	2	3
<p>「はい」と返答した方々は回答者の70.5%で、子ども同士のトラブルへの対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「子どもの気持ちをよく取って良い悪いをはっきり伝えてくれる」「ちゃんと怪我をしないように見てくれると思う」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「もっと親への報告が欲しい」との声が寄せられた。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	54	4	0	3
<p>「はい」と返答した方々は回答者の88.5%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「連絡帳や日々の連絡から子どものことを良くみてくれると思う」「子どもは(職員のことを)大好きでよく話をしてくれる」等の声が寄せられた。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	46	7	1	7
<p>「はい」と返答した方々は回答者の75.4%で、プライバシーの保護に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「そう言った場面がないので評価できない」との声が寄せられた。「非該当」と返答した方々からは、「相談したことがないのでわからない」との理由であった。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	49	8	1	3
<p>「はい」と返答した方々は回答者の80.3%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「ホワイエボードでの説明と日々の連絡でよくわかる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員のキヤリアによって差がある」「お迎え時に混む時は十分な時間が取れず、もう少し詳しく聴きたいと思うこともある」等との声が寄せられた。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	49	3	1	8
<p>「はい」と返答した方々は回答者の80.3%で、不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「連絡帳に書くことで対応してくれている」「不満に思うことがないのでわからないが、おそらく誠実に対応してくれると思う」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「子どもを預けている立場からすると不満があっても言えない」との声が寄せられた。</p>				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	16	15	9	21
<p>「はい」と返答した方々は回答者の26.2%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の24.6%、「非該当」と返答した方々は回答者の31.1%であった。「はい」と返答した方々からは、「安閑先にたくさんチラシが置かれていたので、そう思う」等の声が寄せられた。「非該当」と返答した方々からは、「事例がない」「機会がないので良く分からない」等との声が寄せられた。</p>				

1 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	

1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリ1(1-1)

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

サブカテゴリ1毎の
標準項目実施状況

9 / 9

評価項目1
事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点(00)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(0000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	<input type="radio"/> 非該当

園目標を玄関に掲示し、保護者・職員・関係者等に周知している

園目標を玄関に掲示し、保護者・職員・関係者等に周知している。また、会社全体の理念・保育理念・保育方針や、園目標・園独自の「基本的配慮のほか、特に保育上心がけていくこと」について、園のしおりに明示し、保護者・職員に周知している。年度初めに職員皆で検討した「職員目標」や「全体保育目標」を掲示し、職員への意識づけを図り、その方向性を一つにしていくよう取り組んでいる。

今年度、緊急時の役割分担表を作成し、責任体制を明確にしている

法人全体で16か所の保育園を保有し、定期的に園長会などを開催し、会社方針を各園の園長に伝え、共通課題について検討している。また、社長の「縁を大切にす」という考え方のもと、新卒職員が各園に配属された際は、必ず社長がその新卒職員に会いに来て、声をかけたい。会社本社人事担当者も各園の保育士一人ひとりの顔がわかる関係である。他方、今年度、緊急時の役割分担表を作成し、責任体制を明確にしている。事故・災害時などが発生した際、園長不在時の内外連絡などの対応を明らかにしている。

「職員会議」(月1回)にて、園長からの伝達などを確認し合っている

園長・主任による「トツツ会議」(月1回、および随時)開催し、その後、正規職員全員が参加する「職員会議」(月1回)にて、各クラスからの報告、事故報告、研修報告、園長からの伝達などを確認し合っている。また、夕方の申し送りでは、各クラスから1名、園長、主任、看護師、専務、調理などが参加している。各クラス会議(月1回)には、園長・主任・クラス担任全員が参加し、月案の見直しなどについて討議している。また、週1回、週案会議で、各クラスの週案の打ち合わせを行っている。献立会議や行事会議などについて検討している。

2 経営における社会的責任		カテゴリー2	
		サブカテゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
		評価項目2	評点(00)
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		標準項目	
		標準項目	
評価項目1 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる 評価項目2 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		標準項目	
		標準項目	
評価項目1 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる 評価項目2 2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に開する情報を開示している		標準項目	
		標準項目	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている サブカテゴリー2(2-2)		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		標準項目	評点(00)
		標準項目	
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		標準項目	評点(000)
		標準項目	
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		標準項目	評点(00)
		標準項目	
評価項目1 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者配置、手引き書の作成など) 3. ボランティアを利用者のライフパターの尊重やその他の留意事項などを伝えている		標準項目	
		標準項目	
評価項目2 1. 地域との関係機関とのネットワーク(事業者連絡会など)に参画している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		標準項目	
		標準項目	

年度初めに全職員で「職員の心得」について読み合わせをしている
 法人で「企業倫理指針」「コンビゲルルーナ行動規範」を作成しており、「コンビゲルルーナ行動規範」の中に「機密情報の管理」「個人情報の管理」について指導教育している。入社研修で、この「企業倫理指針」「コンビゲルルーナ行動規範」について学んでいる。さらに就業規則の職務規律、保育マナーについて学んでいる。年度初めに契約社員も含めて全職員で「職員の心得」について読み合わせをし、確認し合っている。

児童館からの依頼により、主任・看護師が育児相談会で協力している

同一法人他保育園に行事に関する備品を貸し出したり、ツールを同一法人他保育園に貸し出したりしている。今年度から、緊急一時保育を行なっている。児童館からの依頼により、今年度、主任・看護師が育児相談会で講師として協力しており、トイレ・トレーニングなどについての話をしている。小規模保育室の子どもが園庭で遊びに来たことはあるが、地域の在宅親子の利用は少ない。幹部層は、公立園としての役割を認識し、今後、近くの小規模保育室との交流をより多くしていく必要があると考えている。

手引書を作成し、手引書に沿って円滑な受け入れを行なっている

ボランティア受け入れに関する手引書を作成し、円滑な受け入れができるようにしている。受け入れは主任が担当している。定期的にお話ボランティア3名が菜園し、4歳・5歳児クラスに絵本の読み聞かせや素話をして聞かせている。また、中学生の職業体験を受け入れている。そのほか、保育専門学校の生徒が実習前の体験として、ボランティアとして子どもと遊んで聞いている。昨年度の保育実習生が、「この園で働きたい」との希望を持ち、会社の新卒採用に応募し、内定をもらっている。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 8 / 8

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(00)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
<input type="radio"/>	あり	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
<input type="radio"/>	あり	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
<input type="radio"/>	なし	

カテゴリー3の講評

玄関に意見箱を置き、いつでも誰でもが苦情・意見を投函できるようにしている
苦情担当者を定め、保護者の意見や要望に速やかに解決していく体制を整えている。入園説明会で、苦情相談について伝えており、園内に掲示している。玄関に意見箱を置き、いつでも誰でもが苦情・意見を投函できるようにしている。今年度、無記名の1件の投函があった。投函された内容は、職員会議で対応策について話し合い、園だよりでフォローアップしている。記名の場合は、すぐに個別で対応することとしている。

運動会・発表会の実施後、アンケートを行い、保護者の意向などを把握している

運動会・発表会の実施後、アンケートを行い、保護者の意向などを把握している。アンケートでは、お褒めの言葉だけであったため、園としては、利用者意向の把握に関しては今後の検討課題としている。年3回のクラス懇談会でも、保護者の意向・意見の把握に努めている。個別面談は、5歳児のみで、年1回実施している。4歳児の保護者との個別面談は希望者のみで年1回実施している。そのため、日常場面では、連絡帳や送り迎え時の保護者からの会話から意向を集約している。

年2回、地域子育てネットワークに参加し、地域の情報を収集している

児童館・小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育園施設長の長が集まる杉並区内保育園施設地域懇談会に参加し、子どもに関わる情報を収集している。また、杉並区私立園長会・会社全体の園長会に参加し、園・都・区の施策について情報収集している。会社園長会では、各園の取り組みや事故報告なども共有し、当園での取り組みの参考としている。

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1(4-1)

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(0000)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
○あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している
○あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
○あり ○なし	

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(00000)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
○あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
○あり ○なし	3. 計画は、サービスマンの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
○あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(00000)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
○あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている
○あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している
○あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サマカネゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価		標準項目
○あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
○あり ○なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○非該当
○あり ○なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
○あり ○なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○非該当

カネゴリー4の講評

会社本部が中期事業計画(2015～2017年度)、年次事業計画を作成している

事業運営に関しては、会社本部が、中期事業計画(2015～2017年度)、年次事業計画を作成している。当園の職員皆で話し合い、「職員目標」を定め、事務室に掲示し、職員に周知している。そのほか、保育課程の中に保育の目標・方針を明確化し、それに沿って各年齢の発達過程に応じた保育のねらいや内容および保育の環境を体系的にまとめ、全職員の共通認識をより一層深めることができるようにしている。

月1回、火災・地震を想定しての避難訓練の年間計画書を実施している

火災・地震を想定しての避難訓練の年間計画書を作成し、月1回、計画に沿って訓練を実施している。消防署職員が来園して、救命講習を実施している。年4回、防犯訓練実施計画を作成し、職員のみで、さすまたを使っての不審者対応の訓練を実施している。今後は、警察署と連携しての訓練も期待したい。他方、看護師が区立保育園看護師の連絡会(医療会)に参加し、感染に関わる情報を収集し、他職員へ伝え、嘔吐物処理の実務研修も実施している。また、嘔吐物処理機キットを各クラスに置き、迅速に対応できるようにしている。

毎日、「安全チェックリスト」を使って危険箇所について点検している

ヒヤリハット・怪我の発生時は、発見者がその内容・対応策までを「ヒヤリハットレポート」が報告書に記載し、毎日の夕方の申し送りや職員会議で情報共有し、注意喚起を促している。また、看護師を中心に要因分析を行い、事故の起きる時間帯に職員配置を厚く配置するなどして事故予防策を講じている。また、毎日、早番職員が保育室内を「安全チェックリスト」を使って、室内・廊下・トイレ・出入り口などを点検している。そのほか、園庭・外回りの安全点検も行なっている。

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(0000)

標準項目		評価
1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成 評価の考え方)を明示している		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる

評点(000000)

標準項目		評価
1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

7 / 7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(0000)

標準項目		評価
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当
3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 非該当

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

年3回、園長が個人面談を行い、評価を昇給に反映している

職員の募集・採用は、会社本部人事部が行っている。会社本部が書類選考した後、半日保育園で過ごしてもらい、園長の面接、その後、会社役員の間接で、採用の可否を判断している。常勤職員の平均年齢28歳、全職員の60%が20代であり、そのほか、30代が25%と若い職員集団である。人事評価制度を導入し、年3回、園長・主任が個人面談を行い、評価を昇給に反映している。会社内他保育園の人事異動は不定期としている。

園全体の研修計画、個別の研修計画表も作成している

職員育成は、区主催研修・会社本社主催研修・内部研修・自己啓発も含めて、年間計画を策定している。「人事評価シート」を使って、職員個々の研修意向を把握し、個別の研修計画表を作成している。また、園長・主任が話し合い、経験年数・保育スキルに応じて、研修派遣している。研修受講後は、研修報告書を提出し、職員会議で研修報告を行い、職員間で知識・スキルの共有化を図っている。

月1回、少人数で集まり、茶話会をしながら、横の交流を促進している

退職金制度はなく、年棒制度としている。人事考課を導入し、頑張った職員が報われるような仕組みを設けている。育児後の時短勤務の職員も3名いて、出席しても勤務できるよう支援している。全社員集まっての交流会もあり、法人との一体感を醸成している。今年度から、コミュニケーション費が会社から支給されている。当園では行事のあと、職員間の横の交流を促進し、チームワーク向上に活用している。

7 情報の保護・共有

情報の保護・共有に取り組んでいる

サブカテゴリー(7-1)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(0000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー7の講評

パソコンごとに入パスワードを設定し、毎月、パスワードを更新している

パソコン台設置し、パソコンごとに入パスワードを設定している。園長・事務職員は個人パスワードを持ち、毎月、パスワードを更新している。「文書類の保存期間要領」を作成し、各書類の保存年限・施設保管期間・保管・廃棄ルールを策定している。本年度を含む3年間の分を施設で保管し、それ以前のは本社へ送付している。保管も指定の書類保管タンポールを使用し、保存年限に合わせ、年度ごとにまとめている。重要書類は、鍵付き書庫に保管し、鍵は園長・主任が管理している。

個人情報の取り扱いについて、保護者に書面で同意の署名をもらっている

個人情報の利用目的を玄関に明示し、保護者・職員・関係者に周知している。杉並区個人情報保護法に準じた個人情報の取り扱いを行っている。また、「個人情報の取り扱いについて」を作成しており、保護者に書面で同意の署名をもらっている。そこには、ホームページでは、「子ども個人が認識できるような形では掲載しないこと」と明示している。また、各クラス内の誕生表の掲示、行事等を含めた園内・外の子どもの写真掲示について、保護者の了解を得ている。

個人情報保護の遵守について、実習生等の受け入れ時、その都度、説明している

個人情報保護に向けての留意事項を職員会議で周知し、注意を喚起している。また、実習生等の受け入れでは、その都度、個人情報保護について説明している。

サテカテゴリー1(8-1)
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員個々にマニュアルを作り、職員間の情報共有の徹底を図っている

職員間の情報共有の徹底を図るために、職員個々にマニュアルを作り、伝達事項や配付書類を綴じ、職員個々がいつでも情報の共有や確認ができるようにしている。
 ・毎日、早番職員が保育室内を「安全チェックリスト」を使って、点検している。そのほか、園庭・外回りの危険箇所について職員間で確認し合っている。また、看護師が中心になって「ヒヤリハットレポート」が報告書の要因分析を行い、事故の起きる時間帯に職員配置を厚く配置するなどして事故予防につなげている。職員アンケートでも、当園の良い点として「子どもの安全を第一に考え、行動している」とのコメントが寄せられていた。

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

サテカテゴリー2(8-2)

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

新人育成では、チェック項目を作成し、確実に必要業務を取得できるようにしている

・新人育成では、リーダーを指導担当者とし、「新人向けマニュアル」を作成し、オリエンテーションの後はOJTで育成している。チェック項目を作成し、確実に必要業務を取得できるようにしている。
 ・職員育成では、個人別に研修計画書を作成し、区主催の研修、会社主催の研修、東京都・民間福祉団体の研修などに派遣し、専門性向上に努めている。また、職員個々のモチベーションアップにつながるよう、人事評価シートの見直しをしている。
 ・今年度から、コミュニケーション費が会社から支給されている。当園では行事のあとに、職員間の横の交流を促進し、チームワーク向上に活用している。

サテカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園庭で季節の野菜を育て、命や自然を愛する心、食べ物を大切にすることを育んでいる

・昨年度より、職員体制が充実し、どのクラスにも複数担任を配置し、子どもへの見守り・保育体制を厚くしている。
 ・日中の子ども様子は保護者一人ひとりに丁寧に伝えていく。延長保育の子どもや、職員のシフトによって担任が直接伝えられないときは「お伝えボード」で引き継ぎして、代わりの職員が確実に保護者に子どもの状況を伝えるようにしている。職員全員が一人ひとりの子どもや保護者との関わりを大切にしており、園全体で子どもを見守っている。収穫した野菜は給食や調理保育の材料にしている。土を耕し、種をまき、水をやるという作業を通して命や自然を愛する心、食べ物を大切にすることを育んでいる。また、野菜を育てることで、食への関心を促し、苦手を野菜を克服できるように支援している。

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

倉庫、教材庫の整理整頓を行い、無駄な発注などかなくなり、経費削減につなげている
 ・倉庫、教材庫の整理整頓を行い、無駄な発注などをなくし、経費削減につなげている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

運動会・発表会の実施後、アンケートを行い、保護者の意向などを把握している

・運動会・発表会の実施後、アンケートを行い、保護者の意向などを把握している。年3回のクラス懇談会でも、保護者の意向・意見の把握に努めている。個別面談は、5歳児のみで、年1回実施している。4歳児の保護者との個別面談は希望者のみで年1回実施している。利用者調査では「不満や要望への対応」に関して、回答者の80%が「はい」との返答で、高い満足を得ている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.		共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービスの提供	サブカテゴリー1毎の 標準項目実施状況	4/4
<p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリー1の評評			
<p>ホームページなどで保育園の概要や保育内容などの情報を提供している</p> <p>区のホームページや区が発行している「保育施設ガイド」「保育施設マップ」などの情報誌で情報提供している。ホームページでは、保育園の概要、施設の見取り図、保育目標、対象年齢や定員、主な行事、保育園の特色も紹介している。また、会社のホームページでも、概要や保育目標、主な行事掲載しているほか、フォトギャラリーとして子どもたちの活動の様子などを写真で紹介したり、登園許可意見書や登園画がダウンロードできるようにしており、保護者専用ページへのアクセスもできるようにしている。</p> <p>子どもの活動している写真を添えたパンフレットを見学者に配布している</p> <p>ホームページの情報提供は、保育の内容が分かるように写真を添え、場所が分かるように地図を入れて、色々な保育園を見学する人の記憶に残るような工夫している。また、特に力を入れている自信でできることを載せている。見学者に配布パンフレットには、「汚れを気にせずのびのびと遊べる環境があります」「保育行事で意欲を育てます」「専門講師による体育指導や美術教室で五感を育てます」などと子どもの活動している写真を添えて掲載している。</p> <p>毎週水曜日の午前中の見学会を案内して、集まった人を対象に実施している</p> <p>問い合わせがある時、毎週水曜日10時30分～11時30分頃に見学会をしていることを伝えていく。見学者には園長が対応している。その日集まった人を対象に一緒に、玄関ホールで説明をしている。参加者の中で、同じ年齢の子どもがいる人同士でつながりしている。「見学者マニュアルに沿って対応し、園の保育の特色などを紹介しながら施設見学してもらっている。質問として、行事の曜日、散歩先、用意する物等がよく出されている。</p>			
2		サブカテゴリー2	サブカテゴリー1毎の 標準項目実施状況
サービスの開始・終了時の対応			6/6
<p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

評価		標準項目
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている

サブカテゴリー2の講評

入園内定者に健康診断と面接を実施して、決められた様式に記録している

入園内定者には2月中に健康診断と面接を実施している。面接は13時～15時に2日間で行うが、都合がつかない場合には別日対応をしている。園医による子どもの健康診断と身体計測や健康に関する情報収集は看護師が行っている。事前に記入してもらった「入園までの生活状況」「食事調査」等を基に、保育士が食事や排泄、睡眠、遊び等の様子を聴き、離乳食や食物アレルギーについては栄養士が聴いている。持ち物の説明もしている。家庭の事情、保育時間、園に対する要望などは園長が聴いており、面接の情報は面接報告書に記載し職員間で共有している。

「ほいへえんのしおり」を基に入園説明会で具体的なサービスを説明している

3月末の土曜日に入園説明会を実施している。「ほいへえんのしおり」を配布し、見てもらいながら説明し、保育方針や保育目標、保育上特に気を付けていること、年間行事予定表、時間外保育の案内などをしてしている。お願い事項や健康管理・保健衛生については詳しく話している。全体説明の後、クラス毎に朝の支度の方法などを説明している。個人情報保護の園での取り扱いに関する文書を説明し、同意書ももらっている。

初日は母親も一緒に過ごしてもらい、2日目からは徐々に保育時間を延ばしている

1日2～3時間から徐々に時間を延ばすようにしている。0歳児であればミルクは飲めるか眠れるかなど子どもの状況を見ながら、また、保護者の仕事の状況により進めている。入園初日は入園式に参加してもらった後、クラスに入って一緒に子どもと過ごしてもらっている。保育園の様子を知ってもらうことと保護者の子どもの抱き方や食事のさせ方などを保育する上での参考にさせてもらうためである。保護者の都合により可能であれば、2週間くらい保護者に保育参加してもらいながら、徐々に保育園の生活に慣れってもらうこととしている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面に明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/>	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
<input checked="" type="radio"/>	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
<input checked="" type="radio"/>	3. アセスメントの定期的見直し時期と手順を定めている

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価		標準項目	
○あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
○あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当	
○あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
○あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたとうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当	
○あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当	

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価		標準項目	
○あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当	
○あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

評価		標準項目	
○あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
○あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリー3の講評

保育士と看護師は子どもの様子や健康状態を日誌や連絡帳、児童票に記入している
日々、受け入れ時の観察や保護者からの口頭連絡、連絡帳による情報などを生活エッセイ表に記載して、いつでも情報を共有できるようにしている。その他、日々の子どもの生活や遊びの様子を連絡帳・保育日誌に記載している。看護師は園児全員の健康状態を見て回り、生活エッセイ表や保育士からの情報も加味して、保健日誌に記載している。月1回の身体測定、春秋の健康診断、その他の健診などは児童票の入園後の健康状況欄に記載し、保育士は保育経過記録を、0歳1歳は1月ごと、2歳児は2か月ごと、3歳以上は3か月ごとに記載している

指導計画はクラス担任が子どもの姿を踏まえて話し合い、次月の計画を作成している

保育課程に沿って、年間指導計画、月間指導計画(月案)を作成している。月案は、月半ばにクラス会議を14時から行い、子どもの姿、クラス全体の状況などを踏まえて、次月のねらいや保育の内容を担当同士話し合っ作成している。0・1・2歳児は個別指導計画も作成している。出来上がったものを主任が目を通し、園長に見てもらいアドバイスを貰って追加修正などを行い完成させている。職員会議では、各クラスの子どもの姿や取り組みなどについて報告し、共有している。

子どもの情報は連絡会で報告し、具体的な子どもの状況は保育日誌に記入している

申し送りの連絡会を毎日夕方から15分程度実施している。参加者は各クラス担任1名と園長、主任、看護師・調理室より1名である。職員会議は月に1回行っている。配慮の必要な子どもに対する巡回指導のカンファレンスは全職員で聴くようにしており、研修の一部に行っている。保育日誌には園長からのコメント欄があり、若い職員が多いため、指導と職員との関係作りを兼ねて、保育内容の記録が具体的な子どもの姿や保育者の思いを表現しているかをみて、助言や感想などを赤ペンで書いていく。

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

個人情報保護の考え方を保護者に説明して、同意書を提出してもらっている

職員は職務基準により、個人情報の保護義務が課されている。保護者に対して、入園時に「園における個人情報の取り扱いについて」の文書を出して区の個人情報保護法に準じ秘密保持に注意して取り扱う旨を伝えている。また、クラス内の誕生表の掲示や誕生児の名前と写真を廊下などに貼ることについて、行事等での子どもの写真提示などには同意書を提出してもらっている。

子ども一人ひとりの意思や人格を尊重する保育を心がけている

保育課程の社会的責任の中で保育の営みが子どもの人権を守るために法的・制度的に裏付けられていることを認識し、子どもの人権に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を実施します」と掲げている。子どもの意思を尊重して、自分はこのパズルで遊びたいという思いに沿うようにしている。食事なども無理強いせず、食べきれない時には残したり、減らして下さいと言えるようにしている。集団で一斉に行動できない場合、しばらく預かるなどしている。子どもの名前は～さん～ちゃんなどと呼び、略称などでは呼ばないようになっている。

保護者の価値観や考え方などにはできるだけ受け入れ、配慮している

保護者の価値観や考え方などには、できるだけ寄り添うようにしている。豚肉が食べられない旨の申し出を受けた場合には、豚肉除去食の対応をしている。お昼寝を短くして下さいやトイレソフトトレーニングを早め始めて欲しいなど希望される場合は、子どもの状況を話し合い、家庭の事情や保護者の考えをよく聴いたうえで、受け入れている。決まった保育時間はあるが、習い事に行く理由で早めに迎えに来るなども受けけている。

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○○)

評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/>	あり	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○○)

評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/>	あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	3. 職員一人ひとりが工夫、改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/>	あり	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

<p>区立園共通の危機管理マニュアルに準拠して整備している</p> <p>区立園共通の「危機管理マニュアル」に準拠して整備している。「看護マニュアル」「安全管理マニュアル」「児童虐待マニュアル」など各種作成している。その他、「散歩マニュアル」や会社共通の「感染症マニュアル」「新人向け育成マニュアル」も用意している。業務の手順については、「保育士の仕事の流れ」、「当番の動き」を一覧で示して使っている。これらでマニュアル類は事務室のすぐ手に届く場所に置いてあり、必要に応じて活用している。</p>	<p>行事や保育は行事後や月末、期末、年度末に反省を行い、必要に応じて見直している</p> <p>提供している保育については月末、期末、年度末にそれぞれ反省や確認を行い、必要があれば見直している。行事ごとに反省を行い、保護者参加行事の場合は終了後アンケートを実施し、連絡帳などからも寄せられた意見も参考にして次年度の行事に生かしている。当番の動きなどの業務の手順については、朝夕保育の子ども人数が増減するなどにより、対応の変更が必要になった場合には、職員会議で検討して見直しをしている。</p>
<p>「新人育成マニュアル」を用いて、新人が同一のサービスを提供できるように育てている</p> <p>職員全体で同じようにサービスを提供するために、毎夕の連絡会、月1回の各クラス会議、献立会議、行事に関する取り組みを検討する行事会議、各クラスの通業会議などを行って情報共有している。また、様々な研修に参加して、知識や技術を学んでいる。特に、新人の育成には、「新人向け育成マニュアル」を用いており、朝の受け入れの仕方、冷凍母乳の対応、子どもの引き渡し、行事の進行など細かな項目がチェックリスト化され、一つずつ経験してチェックを入れるようにしている。これによって園長・主任は新人が経験していることを確認している。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サブカテゴリ-4

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

35/37

1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている		評価	標準項目	評価
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当

評価項目1の講評

一人ひとりの子どもの思いに寄り添えるように、パート職員を配置している
子どもが自分で遊びを選び、手に取って遊ぶように環境作りをしている。室内では、ままごとや絵本などのコーナーを作り落ち着いて遊ぶようにしている。園庭も同様で子どもが遊びたい遊具を自分で出せるようにしている。もつとこれで遊びたいなどという子どもの思いに寄り添って、塵遊びを続けたり室内遊びをしたり、個別に見ることもしている。担任の他に各クラスにパート職員を入れており、保育の準備等をしてもらうことで、保育士が子どもに個別に関わる事ができるようになっている。

異年齢で一緒に散歩したりお店屋さんごっこの面白い物をしたりして交流している

異年齢で散歩に出かけ一緒に遊んでいる。お店屋さんごっこでは4・5歳児がい・2歳児と手をつなぎ一緒に買い物しながら「これ買いたいの？」など小さい子の顔を覗き込み質問し、よく面倒を見ている。普段、目立たないおどかしい子どもが小さい子の面倒見が良く、意外な一面を見ることが出来たり、褒められて自信をつけたりする場面が見られている。宗教上の理由により、豚肉が食べられない子どもには除去食の対応をしている。除去ができない場合は鶏肉などの代替え食で対応して、豚肉が食べられないことを他の子どもにも知らせている。

子ども同士のトラブルは双方の子どもを良く聞き取り対応している

子ども同士の喧嘩やトラブルについては、双方の思いを良く聴くようにしている。年齢が低い子どもの場合は自分の言葉で思いを十分伝えられないので、「〜したかったのね」など思いを代弁し、子どもの気持ちを尊重するようにしている。幼児では、どうすればよかったのかを自分で考えさせるようにしている。しかし、トラブルを防げなかったのは保育園の責任であると考えており、被害者の保護者に状況を説明して謝罪している。大きな怪我になった場合には双方の保護者に伝えることになっている。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(○○○○)

評価	標準項目	評価		
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当
<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	○ 非該当

評価項目2の講評

昨日の子どもの様子や家庭での子ども様子の様子把握し、配慮して保育をしている
 子どもの気になる様子で申し送ること(体調、怪我、嫌など)、夕方保育時間に起きた出来事で職員に伝えておくこと(靴下が片方行方不明
 など)を園日誌に記入し、出勤した職員は必ず目を通してにしている。朝当番は園日誌を見て、お伝えボードに転記して、内容によって
 は朝の受け入れ時に保護者への聞き取りと子どもの観察をしている。例えば、昨日教があった子どもの場合は、「お家ではどうでしたか」と
 聴き、子どもの様子を確認し、ボードに記載しておき、当番から担任への引き継ぎの際に報告し、担任同士で情報共有している。

一人ひとりに合った支援をするために連絡帳で子どもの様子を共有している

園として基本的に心がけたいこと「一人ひとりの生活のリズムに合った生活の保障」を挙げています。年3回クラス懇談会を実施し、日常は連絡
 帳等で家庭と子どもの様子をやり取りしている。0・1・2歳児は複写式連絡帳を使用している。家庭から就寝時間、起床時間、朝食、体温、
 排便の有無、服薬の有無と子どもの様子、連絡事項等を記載してもらい、園からは昼食、排便、午睡、園での子ども様子を伝えてい
 る。おむつ外しの時期などは、個別の子どもの状況により保護者と相談しながら開始し、詳細に様子を報告しながら無理なく進めている。

午睡は子どもの状況に合わせて長さや寝る時間を配慮している

年齢ごとに睡眠時間を設定している。0歳児は眠たくなければ午前も午後も寝せている。1・2歳児は食後すぐに眠くなるので布団に入ってい
 る。幼児は体力も付き、食事の時間も運いが食べ終えて少し絵本を見たりして胃を休めてから布団に入っている。寝付けけない子どもは静
 かな遊びをして待っている。体調不良の子どもは早めに寝かせている。5歳児の午睡は、正月過ぎ頃より、寝る時間を30分位ずつ短くしな
 がら短くしていき、寝る日と寝ない日を作るなどして3月中旬ごろには寝ないで過ごすことに慣れるようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるよう視点を取り入れられている	○非該当

評価項目3の講評

専門家の指導による美術教育を取り入れ保育者も一緒に学んでいる

園目標では、2・3・4歳児は「自発性が発揮できる子ども」としている。室内では、子どもの年齢や発達に合わせて、ままごと、ブロック・積み
 木コーナー、絵本コーナーなどを用意して、自分が選んだ場所で使いたくたいおもちゃを使って、落ち着いて遊べるようにしている。ブロック遊
 びでは遊びの継続ができるように、作ったものをロッカーの上に飾っておけるようにしている。専門家の指導による美術教育を取り入れ、
 保育者も一緒に学んでいる。子どもの作品は、季節によって作るものも工夫されているが出来上がったものは持ち帰っている。

子どもたちの発想を取り入れて「お店やさんごっこ」や「はつぴよう会」をしている

11月下旬にお店やさんごっこを予定して、赤いものなどを制作中である。地域の商店を周りに行って、何屋をしたいのか皆で話し合っ
 ている。結果は5歳児が寿司屋、すしのネタも飾りやサーモンなど、子どもたちが選んだものを作っている。4歳児は花屋、3歳児はクレ
 ープである。財布やお金も子どもたちが作ったりして張り切っている。姉妹園から3・4・5歳児が来て一緒に寿司を作っている。保護者には写真
 で様子を兜でもらったり、連絡帳で知らせている。2月に実施するはつぴよう会の出し物も、子どもと話し合っ
 て決めている。

季節ごとの自然に触れ、変化に気づくようにし、子どもの発見や喜びに共感している

季節ごとの自然に触れ変化に気づくように、興味を持つようにし、子どもたちの発見や喜びに共感していくようにしている。花を摘ん
 だり木の实を集めたりして遊び、それらを使って製作したりしている。部屋の入口に、ポンプリや木の枝を利用してクラスの名前を
 表示している。花壇に種まきや水やりをして野菜や花を育て、トマトやコーヤ、ゴマ、稻などを収穫した。蟻やかえる、ダンゴ虫、蝶などに
 遊び、今年にはゴマに産み付けられた青虫が育っていくのを子どもたちは観察することができている。

4 評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目4の講評

「夏祭り」では伝統の「海太鼓山太鼓」の踊りをハッピを着て踊っている

行事を通して子どもの意欲が育ち、伝承行事は文化に触れる機会であると考えている。保護者参加行事である運動会は10月の土曜日の午前中に地域の小学校を借りて、かけっこやダンス、親子競技、4・5歳児のリレー・組み体操等を行っている。5歳児のダンスは職員が振付をしたものであるが、子どもたちは振りが気に入って、3・4歳児も見て覚えて曲がかかると一緒に踊っている。夏祭りは土曜日の夕方に実施し、4・5歳児が伝統の「海太鼓山太鼓」をハッピを着て踊っている。各クラスのお店ヨーヨーつり、的当て、菓子屋等をして親子で楽しんでいる。

年間行事予定表を早めに配布し、保護者参加行事は土曜日開催している

年間行事予定表は4月当初に配布して予定してもらっているが、詳細をおおむね1か月前には知らせて参加・不参加を確認している。保護者参加行事は土曜日に開催し、保護者が参加できない場合の土曜日保育も、預かり保育もしている。小学校の体育館で実施している夏祭りで恒例の「海太鼓山太鼓」は、4・5歳児が踊るのを保護者が楽しみにしている。小学校の体育館で実施している。近隣の老人福祉施設のお祭り(土曜日)に参加して、お年寄りと交流している。小学校とは「まねっこ一年生」に招いてもらっている。

「夏祭り」「運動会」には地域の人に参加を呼びかけている

夏祭りや運動会に参加を呼び掛けるチラシを地域の人に配り、地域の児童館や小学校、学童クラブにポスターを届けて貼ってもらっている。未就園児向けの種目を用意して、毎回、地域の人は30人程度参加している。卒園児には招待状を郵送している。近隣の老人福祉施設のお祭り(土曜日)に参加して、お年寄りと交流している。小学校とは「まねっこ一年生」に招いてもらっている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	○非該当
●あり ○なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	○非該当

評価項目5の講評

夕保育はクラス毎で過ごし、延長保育は1歳児と5歳児の合同保育を行なっている

18時30分までの夕保育の時間は各クラスで保育をしている。延長保育は、1歳児から5歳児まででは合同になり捕食を摂った後、2歳児保育室で20時30分までの延長保育を行っている。異年齢が一緒に過ごしているので、遊びの種類によつて部屋の中をゾーン分けして、危険が無いように過ごさせている。延長保育用として、少人数でも遊べるような玩具の大型パネル、キーボード、マイクなどのおもちゃを用意している。

「連絡ボード」「お伝え表」に記入して引き継ぎ、伝達漏れを防いでいる

日中の子どもの様子は連絡帳に記入しているが、直接口頭で伝えたい体調の変化や傷、打撲などの怪我のこと、持ち物についてなどは、「連絡ボード」の隙間時お伝え」の欄や「お伝え表」に記入して漏れがないようにしている。担任が会えない時間帯にお迎えの場合、日中の保育をしていない当番保育士でも遊びの様子を伝えられるように「お伝え表」には本日の主な活動と伝えたい遊びの様子、個別に連絡しなければならぬことなどを担任が記入して、当番に引き継いでいる。

お迎えの際には日中の子どもの様子と連絡事項を漏れなく伝えている

お迎えの際には、「お帰りがさい」と保護者の顔を見て笑顔で挨拶をして迎え、保護者の気持ちをねぎらうように心がけている。担任も夕保育や延長保育の当番も「連絡ボード」や「お伝え表」に記入してある内容を基にして、日中の詳しい子どもの様子と共に、連絡しなければならぬ子どもの体調の変化や怪我のことや持ち物についてなどを漏れなく伝えるようにしている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当

評価項目6の講評

園独自の和食中心の献立で、落ち着いて食べられるようにいつも席を同じにしている

区立保育園共通の献立を参考にして、園独自で和食中心の献立を作成している。2週間のサイクル献立であり、食材の苦手なものや献立であっても、2度目はチャレンジして欲しいと考えている。1度目の子どもの喫食状況を見て、2度目は切り方を変えるなどの工夫をしている。子どもが落ち着いて食べられるように、椅子は必ず足の着く高さの物を使用している。テーブルの場所も同じ位置にし、同じ顔ぶれで食べている。好き嫌いで減らして」と言えるようにしており、おかわりも用意している。七夕会食などの特別献立も伝統行事の際に提供している。

食物アレルギー児へは色付きトレーで給食を提供して、誤食を防いでいる

食物アレルギーがある場合には、食物除去申込書を提出してもらい、現在、卵、牛乳除去の対応をしている。次月の献立が出た時点で、保護者に献立表と成分表とでチェックしてもらい、それに基づき、看護師、栄養士、担任、園長、主任が確認して調理担当に渡している。クラスでは除去食確認表をチェックしたうえで、調理室から受け取る際確認し、担任同士でもアレルギー対応食を確認してから本人に配膳している。食べる前と食べた後には顔色を確認している。食物アレルギーの子どものみで使用している色付きトレーには名前と除去食品名が記されている。

「食育計画」を作成して野菜の栽培や食材に触れる活動、調理活動に取り組んでいる

食育年間計画を作成して、野菜の栽培や給食食材に触れる活動、調理活動をし、食べ物と身体の関係にも関心を持てるようにしている。野菜の栽培では、子どもたちと一緒に種まきや苗植えをして、えだ豆、トマト、トウモロコシ、稲、ゴマなどを収穫し、黄色のトマトを園庭遊びの時に食べたリトウモロコシはおやつに食べたりしている。給食食材に触れる経験として、そら豆やトウモロコシの皮むきなどを手伝っている。食事のメニューを知らせる取り組みとして、スプーン、箸の使い方や食事の姿勢、三色食品群についても話している。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(○○○)

標準項目		評価
1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○あり ○なし	○非該当
2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている	○あり ○なし	○非該当
3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○あり ○なし	○非該当

評価項目7の講評

怪我や病気を防ぐために必要な知識や習慣を子どもに分かりやすく伝えている

子どもが病気や怪我を自分で防ぐ意識を持てるように支援をしている。健康教育として、手洗いやうがい等の指導では、なぜ手を洗うのかなどその意味を具体的に伝えて、実際に洗いやうがいの仕方を指導している。そして、いつでも気がつけるとすぐに手洗い場には洗いやうがいを終り、手洗いは繰り返す。人の身体の仕組みについても知らせている。ボール遊びではふざけていて滑ると危険であることを知らせ、園庭では遊びの約束事は繰り返し話をしている。散歩時には道路を歩く時の交通ルールや公園の遊具の使い方、遊び方についてその都度注意をしている。

園医による健診を0歳児は月2回、1・2歳児は月1回、幼児組は年2回受けている

0歳児は月3回、1・2歳児は月1回、幼児組は年2回の園医による内科健診を受けており、幼児は年1回の耳鼻科健診と眼科健診も受けている。園医には子どもの健康に関する相談をすることができている。与薬については、慢性疾患、アトピー性皮膚炎などの薬について、保育園での与薬が必要と判断された場合には、与薬申込書を提出してもらって、主治医が処方したものに限り預かっている。現在は、熱性けいれんとアトピー性皮膚炎の薬を預かっている。

乳幼児突然死症候群(SIDS)について掲示し、保護者に伝えている

保護者には毎月「ほけんだより」を発行し、健康や保健に関する情報を提供している。玄関ホールの靴箱付近に園における感染症発生情報や、区から送られる感染症情報も掲示している。乳幼児突然死症候群(SIDS)に関しては、入園時に話を注意喚起しており、園の対応について、仰向けで寝かせることや午睡子エッグを0歳児は5分ごと、1歳児は10分ごと、2歳児は15分ごと、3歳児以上は30分ごとに行い、寝方や顔色、胸に手を当てて呼吸を確認していることを伝えている。午睡時のカーテンは子どもの顔色が見える程度の明るさにしている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	評価
○あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○非該当
○あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
○あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるよう取り組みをしている	○非該当
○あり ○なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○非該当
○あり ○なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

評価項目8の講評

一人ひとりの保護者の就労や家庭の事情に配慮して支援している
 保育方針の中に「保護者の子育てと就労を支援して、ワークバランスが図れるようにします」と掲げている。受診したために遅れて登園するなど保護者の事情をそのまま受け入れている。仕事で残業になった場合は時間によりスホット保育を利用してもらっている。18時30分を過ぎると補食を食べさせるかどうかを確認している。交通機関のトラブルで遅くなる場合は、無料で受けている。短時間利用の時間は8時30分～16時30分と9時～17時の2パターンを用意して利用してもらっている。

行事や懇談会などで保護者同士が交流できるように配慮している

保護者参加行事やクラス懇談会で交流してもらっている。クラス懇談会は保護者同士がグループに分かれて話したりしている。新入園児の保護者はかりの0歳児クラスでは、自己紹介をして子どもの良いところ探しをしてもらい、話し易い雰囲気作りをしている。職員は保護者との信頼関係を作るために、笑顔での挨拶、声掛け、伝え合いを大事にしている。玄関ホールのお書の賞し出しコーナーには低いテーブルと椅子を用意して、絵本を選んだり、読んだりできるようにしている。お迎えの時に親子同士が交流している様子が見られる。

保護者と共通認識を持つために年3回のクラス懇談会と1回の個人面談を実施している

年3回実施しているクラス懇談会や年1回の個人面談で、保護者の考えや意見を聴き取っている。育児に役立つ情報提供の一環として、年2回給食試食会を17時30分頃から、19時まで、4・5歳児室を会場にして実施しており、子どもに人気のある給食メニューを何種類か出して、自由に試食してもらっている。また、子どもの食事についての勉強会を、「保育園での食事のすすめ方」お著の持ち方・選び方などについて、栄養士が中心となって行っている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○非該当
○あり ●なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評

園の持っている専門性を生かして、地域の児童館の子育て支援事業に協力している

区の事業である「ふれあい保育」や「緊急一時保育」は申し込みがあるを受け入れているが、現在、緊急一時保育を1か月間1名受け入れ遊びなどで一緒に楽しんでもらい、看護師がおしこの出る仕組みと大脳の発達」というテーマでトイレットトレーニングに関する話をして

事業者が特に力を入れている取り組み①	
評価項目	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている
タイトル①	保護者参加行事は参加しやすい土曜日や夕方に設定し、高い満足を得ている 保護者参加行事は7月の夏祭り、10月の運動会、2月のほっぴょう会であるが、行事予定表はできるだけ早く配布し、詳細を1か月前には知らせている。多くの保護者に行事に参加してもらいたいという思いから、おかれたの人が休みである土曜日に行事を実施している。5歳児の卒園式も土曜日に実施している。また、年3回実施しているクラス懇談会は、平日の夕方17時30分から実施して参加しやすいようにしている。「行事の日程は参加しやすいか」の問いに対する保護者の評価は「はい」が95.1%と高い満足を得ている。
内容①	

事業者が特に力を入れている取り組み②	
評価項目	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	玄関ホールに、親子でゆっくり絵本をみて過ごせる絵本コーナーを作っている 明るく広い玄関ホールを利用して、絵本コーナーを作り、親子で絵本を楽しむ場所になっている。絵本棚には子どもが自分で選べるように入れられてあり、ちよと空っぽ座ってみたくなるような可愛い椅子が数個とテーブルのセットを置いて雰囲気作りをしている。お迎え時に親子でこのコーナーに立ち寄り、一緒に絵本を読んだり、貸し出し絵本を探したりして過ごしている。貸し出しは1週間当たり3冊までの約束にして、利用も多くなっている。
内容②	

事業者が特に力を入れている取り組み③	
職員のやる気向上に取り組んでいる	
評価項目	5-2-2
タイトル③	有給休暇の年間取得率はほぼ100%であり、職員の心身の健康管理に配慮している
内容③	毎月、園長・主任がデータ管理し、職員の有給休暇の取得率向上に取り組んでおり、その結果、有給休暇の年間取得率はほぼ100%である。有休後の時短勤務の職員も数名おり、出産しても勤務できるよう支援している。また、法人から「コミュニケーション」費が支給されており、職員間の横の交流を促進し、チームワーク向上につなげている。職員確保・その定着化に向けてさまざまな取り組みんでいる。

No.	特に良いと思う点
タイトル	「給食だより」を発行し「給食試食会」を開催して園の食育活動を保護者に伝えている
1 内容	食育だよりを発行して、先月の献立の中からレシピを紹介している。家庭向けに、夏バテしないための食べ物などを紹介している。子どもたちのそら豆のさやむき活動や梅干し作りの様子などを紹介している。また、年2回給食試食会を実施して、給食の人気メニューを試食してもらっている。その際に、「保育園での食事のすずめ方」等の話を栄養士が行っている。子どもたちの調理活動として4歳児が梅干し作りをして、梅のヘタを一つずつ取ったリンゴの葉をちぎったり、梅を園庭に干すなどの手伝いをしている。5歳児は味噌作りをしている。
タイトル	カラー印刷でカラフルなイラスト入りの読みたくなるような園だよりやクラスだよりで情報提供している
2 内容	保護者へ保育情報を提供するために、毎月高円寺北花だより(園だより)、各クラスだより、ほけんだより、食育だより、献立表、延長補食献立表を発行している。献立表以外はカラー印刷で可愛くカラフルなイラスト付きであり、園だよりや食育だよりは一部写真付きにして、目で見て読みやすい分かりやすいものになっている。用紙サイズは園だよりがB4判、その他はA4判であり、月始めに発行・配布しているが、園の廊下に掲示もしている。
タイトル	毎日、チャックリストを使って保育室内を安全点検するなど、園舎内・園庭の安全管理に努めている
3 内容	毎日、早番職員が保育室内を「安全チャックリスト」を使って、室内・廊下・トイレ・戸外遊びを出入り口などを点検している。そのほか、園庭・外回りの危険箇所について職員間で確認し合っている。また、看護師が中心になって「ヒヤリハットレポート」「ケガ報告書」の要因分析を行い、事故の起きる時間帯に職員配置を厚く配置するなどして事故予防につなげている。
No.	さらなる改善が望まれる点
タイトル	職員間で話し合い、園独自の具体的保育に関するマニュアルの作成を期待する
1 内容	区立園共通のマニュアルに準拠して「危機管理マニュアル」を整備している。また、園独自の「感染症マニュアル」「新人向け育成マニュアル」も用意している。保育業務の手順については、「保育士の仕事の流れ」、「当番の動き」を一覧で示して使っているが、この地域や施設、園児を想定した具体的保育に関するマニュアルは少ない。今後、より一層質の高い保育を提供できるようにするためには、職員間で検討し具体的な保育に関するマニュアルを作成されることを期待する。
タイトル	園の人材や施設環境を生かして取り組める地域の子育て支援についての検討を期待する
2 内容	保育課程の保育方針に「保育園で培った専門的な知識・技術を生かし地域の子育てを支援いたします」と掲げているが、現在行っているのは「育児相談」と区の事業としての「ふれあい保育」と「緊急一時保育」である。児童館の子育て支援事業への協力もしている。元幼稚園であった広めの園庭など施設環境や園の職員の専門的知識や技術を活用して、園で取り組める地域の子育て支援について検討されることを期待する。
タイトル	職員の育成に向けたより一層の取り組みが望まれる
3 内容	常勤職員の平均年齢28歳、全職員の60%が20代であり、そのほか、30代が25%と若い職員集団である。そのため、会社本社主催研修・区主催研修・園内研修・自己啓発も含めて、年間計画を策定し、職員育成に積極的に取り組んでいる。しかし、職員アンケートでは、新人職員の育成・個別育成計画の充実などが改善点として挙げられていた。保育の質向上に向け、より一層の職員育成に向けた取り組みを期待したい。